

取扱説明書

HITACHI
— 品質を大切にする(技術の日立) —

日立CDラジオカセットレコーダー CX-5W形

このたびは、日立CDラジオカセットレコーダーをお求めいただきまことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表と共に大切に保存してください。

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談を承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

お客様メモ：サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名： _____ 電話 _____
ご購入年月日： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
—メモ—

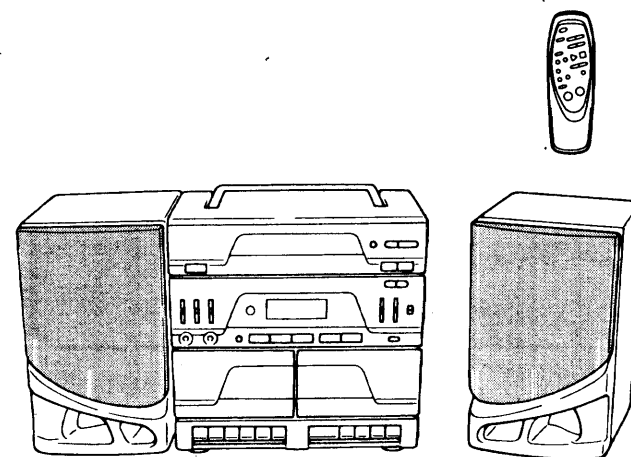
P/N: 3874S-2047E

株式会社 日立 家電

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111



Lo-D

**COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO**

目次	
	ページ
特長	2
接続について	3
電源について	4
各部の名称	6
リモコンの使いかた	8
現在時刻の合わせかた	10
入力切り換えについて	11
音量・音質・バランス調節について	11
カラオケ切替スイッチについて	12
ヘッドホンでお聴きになるとき	12
コンパクトディスクについて	13
CDを演奏してみましよう	14
CD演奏の便利な使いかた	17
●マニュアルサーチ ●ダイレクト選曲	
●スキップ選曲 ●プログラム選曲	
●ランダムプレイ ●イントロスキャン	
●1曲リピート ●全曲リピート	
放送の受信	22
便利なプリセット選局	23
●プリセットのしかた	
●プリセットした放送局の選局のしかた	
テープ再生・録音を始める前に	26
テープを再生してみましよう	27
テープ再生の便利な使いかた	28
録音するには(ラジオ録音)	29
録音するには(CD録音)	31
録音するには(テープ録音・ダビング)	32
カラオケを楽しむには	33
タイマー再生/録音のしかた	35
スリープタイマー	38
特に注意していただきたいこと	39
お手入れのしかた	40
故障かな?と考える前に	41
仕様	42
保証とアフターサービス(必ずお読みください。)	43

特長

■3ピースセパレート

スピーカー部を取り外すことができますので、本棚、机の上など置かた自在です。

■充実したカラオケ機能

カラオケ切換ボタンにより音声多重のCDやテープカラオケが楽しめるほか、ボーカルキャンセル機能により、通常のCDなどをカラオケソースとして楽しむことができます。

■ワイヤレスリモコン

付属のワイヤレスリモコンにより、音量調節や電源、CD、放送の操作が本体から離れていても可能です。

■タイマー内蔵

放送の留守録音や、放送、テープ、CDからお好みのソースで目覚まし再生ができます。また、スリープタイマーを内蔵していますので、ラジオやCD、テープを聴きながらおやすみになることもできます。

チューナー部

■AM/FMワイド受信デジタルシンセサイザーチューナー

AM/FM/TV(1~3ch)が受信できるオートチューニング機能付きデジタルシンセサイザーチューナーです。

■30局プリセットメモリー

合計30局がプリセットメモリーでき、リモコンで選局が可能です。

カセットレコーダー部

■CDシンクロ録音

ワンタッチでCDを録音できます。プログラム選曲と組み合わせれば、ご希望の曲だけ録音することもできます。

■連続再生

TAPE1の再生が終わるとTAPE2の再生が自動的に始まる連続再生が可能です。

■フルオートストップメカ

テープエンドで操作ボタンが自動的にもどる便利な機能を採用しています。

■高速ダビング

CDプレーヤー部

■ランダムプレイ

ディスクに収められている曲の順番を自動的に並べ変えてランダム(順不同)に演奏します。

■イントロスキャン

ディスクに収められている曲の始めの部分(イントロ)を、約10秒間ずつ演奏します。

■プログラム選曲

CDの中から最大20曲まで自由にプログラムして演奏できます。

■ダイレクト選曲

希望の曲から演奏を始めることができます。

■くり返し演奏

1曲、全曲、プログラムした曲およびランダムプレイのくり返し演奏をすることができます。

■時間表示機能

リメインタイム...CD演奏時に残り時間がわかり編集に便利です。

■8cmディスク演奏可能

12cmディスクに加えアダプターなしでそのまま8cmディスクの演奏ができます。

アンプ部

■大出力15W・3バンドグラフィックイコライザー

3バンドグラフィックにより、音楽ソースに合わせたお好みの音質が楽しめます。

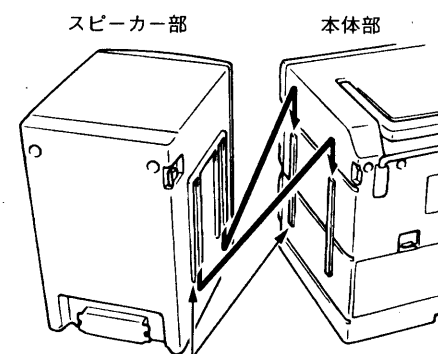
■レベルメーター表示により音の強弱を目で見ることができます。

接続について

スピーカーの取り付け・取りはずしかた

本機は本体とスピーカーを離してセパレート型としても使用できますが、スピーカーを本体に取り付ければ一体型として使用できます。

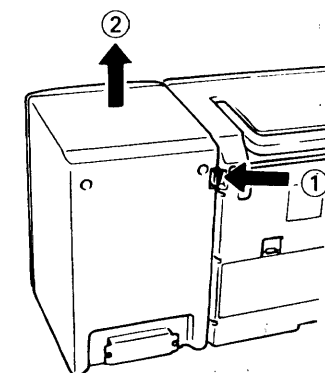
取り付けかた



スピーカー取付ガイド

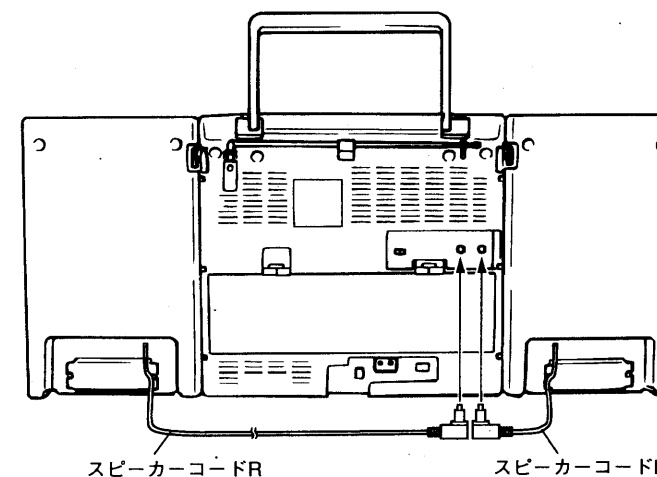
図のように本体側面のスピーカー取付ガイドにスピーカーの取付ガイドをはめ込み矢印の方向に押し下げスピーカーを固定します。

取りはずしかた



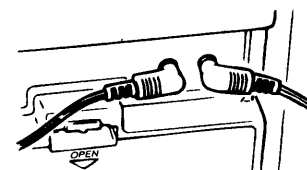
図のようにスピーカー固定ツメを矢印①の方向に押しながら、スピーカーを矢印②の方向に引き上げ取りはずします。

スピーカーコードの接続



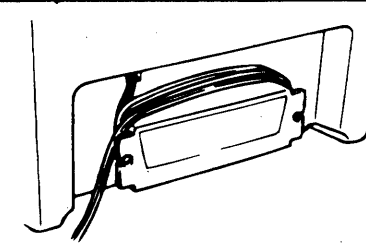
図のようにスピーカーコードのプラグを本体裏面のスピーカー端子に接続します。

●L、Rをまちがえないように正しく接続してください。



スピーカーコードのプラグは上図のように横向きにしてスピーカー端子に差し込みます。

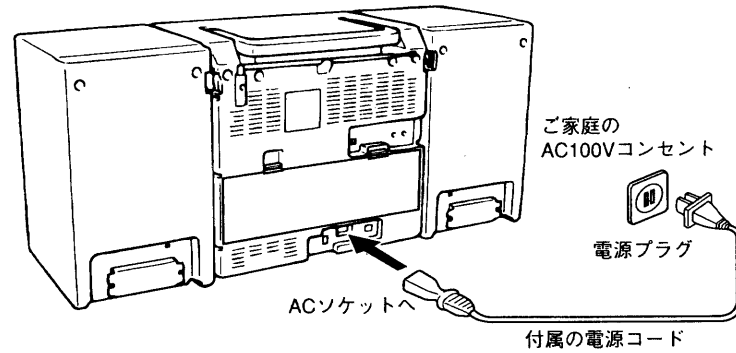
●縦向きで差し込むとプラグが乾電池ボックスのかどにあたり正しく差し込みません。



余ったスピーカーコードはスピーカーボックス裏の上図の部分に巻き付けておいてください。

電源について

ご家庭のAC100V電源で使うとき

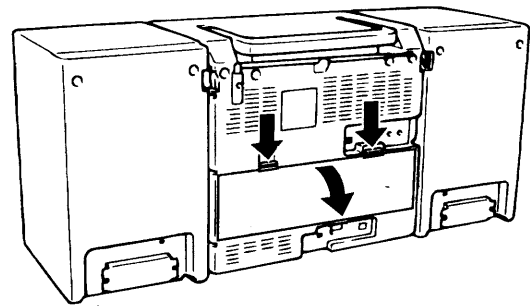


ご注意

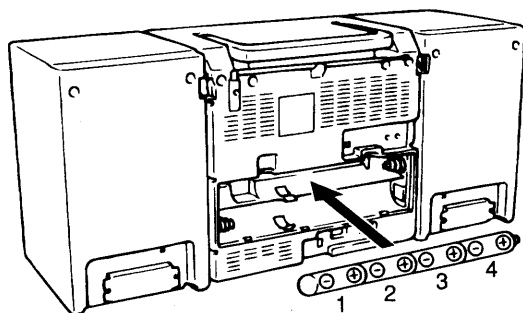
- 長時間ご使用にならない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 他の電源コードは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

バックアップ用乾電池の入れかた

- 1 本体裏面の電池ふたの「つまめ」を下に押しながら、ふたを開けます。



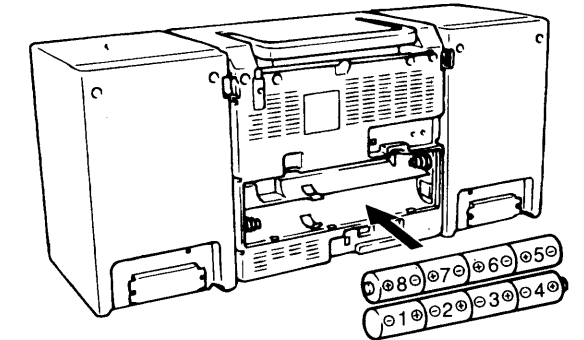
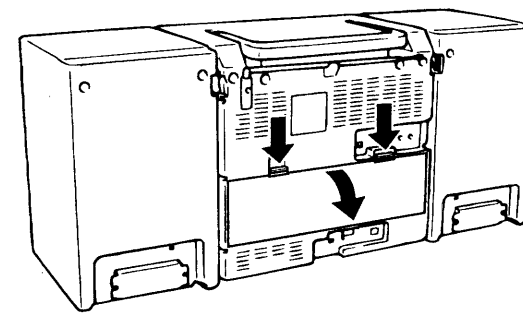
- 2 別売りの単3乾電池4本を図のように入れます。



バックアップ用乾電池が入っていないと、電源コードを抜いたり、停電などによりチューナーのプリセットや現在時刻の表示、タイマー再生、録音の設定時間が解除されます。すでにセットされていたチューナーのプリセットや時刻を誤って解除させないためバックアップ用乾電池（別売り単3乾電池4本）を使用してください。

乾電池で使うとき

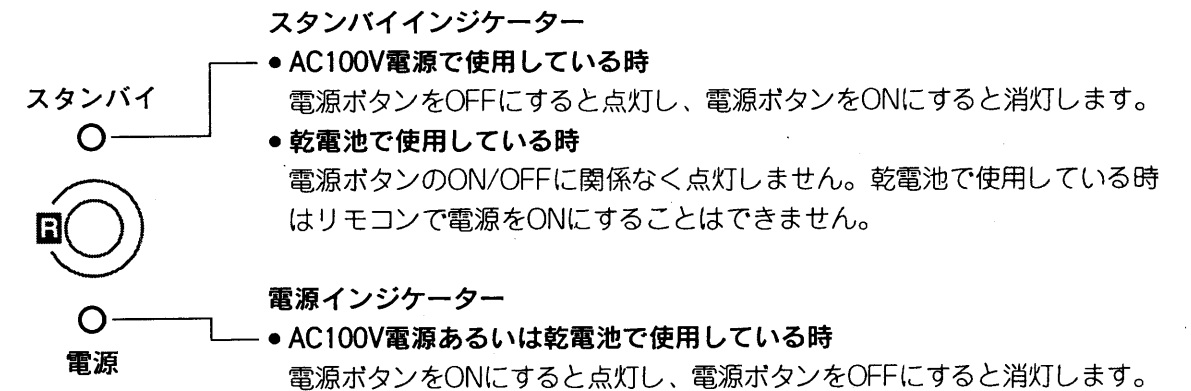
- 1 電池ふたの「つまめ」を下に押しながら、ふたを開けます。
- 2 単1乾電池（別売り）8本を番号順に図のように入れます。



乾電池の交換について

乾電池が消耗すると、電源インジケータが暗くなって見づらくなります。このようなときは乾電池を8本とも新しい乾電池に交換してください。

電源/スタンバイインジケータについて



ご注意

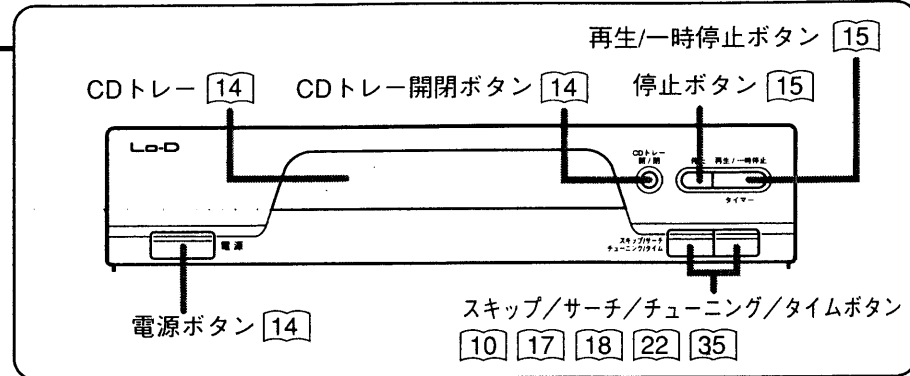
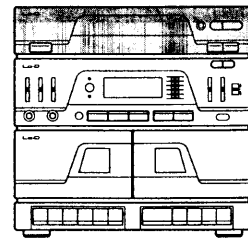
乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。

- ① 乾電池は、⊕プラスと⊖マイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。
- ② 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ③ 種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使用しないでください。
- ④ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。
- ⑤ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

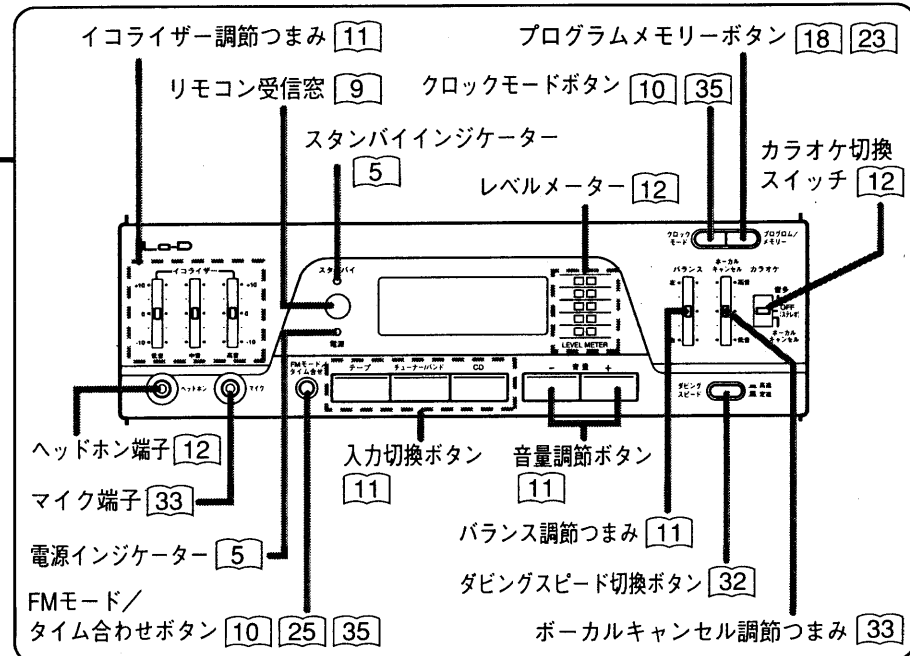
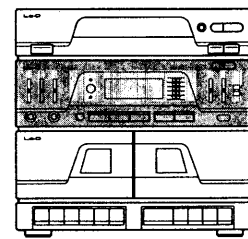
各部の名称

☐内の数字は参照ページを示します。

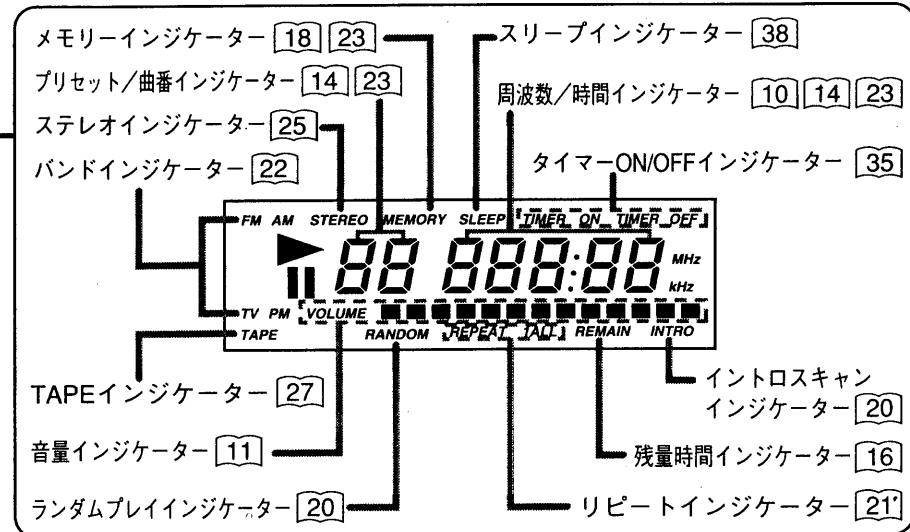
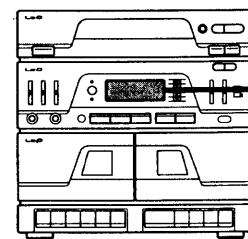
CD部



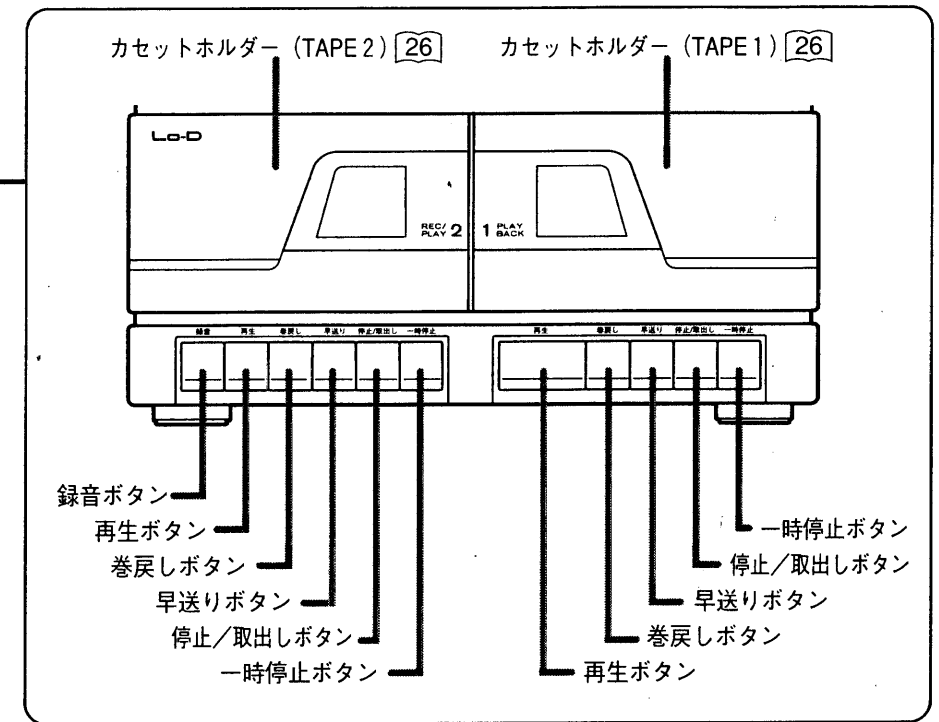
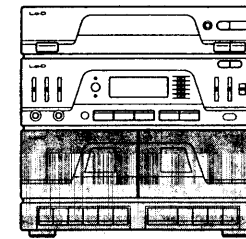
オーディオ/チューナー部



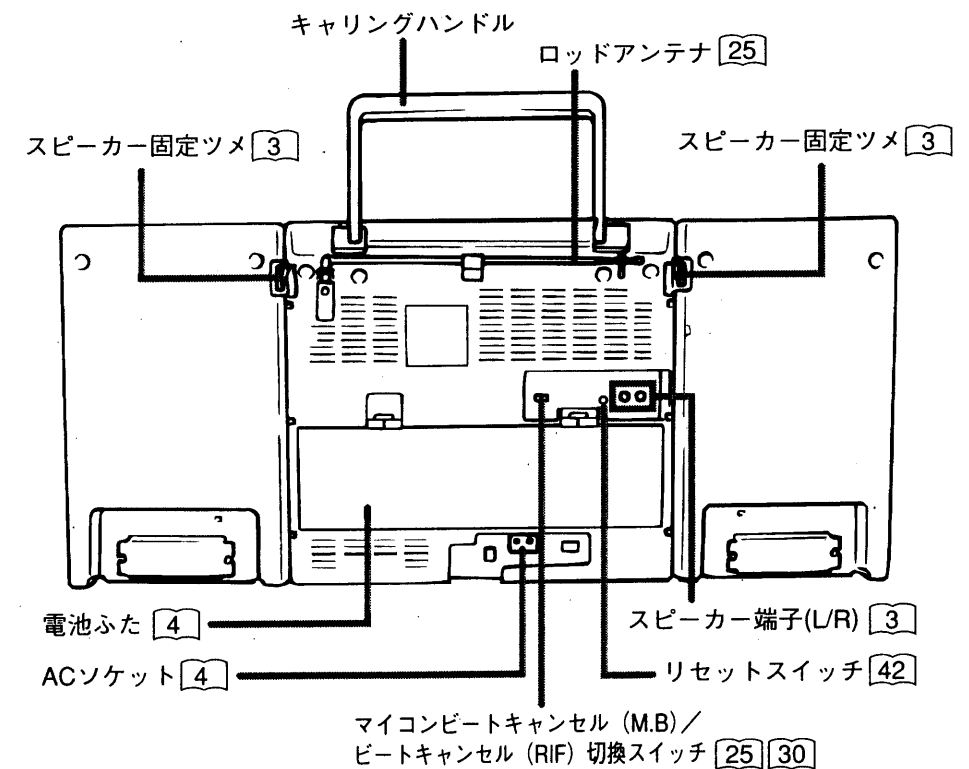
ディスプレイ部



カセットデッキ部 26 ~ 32

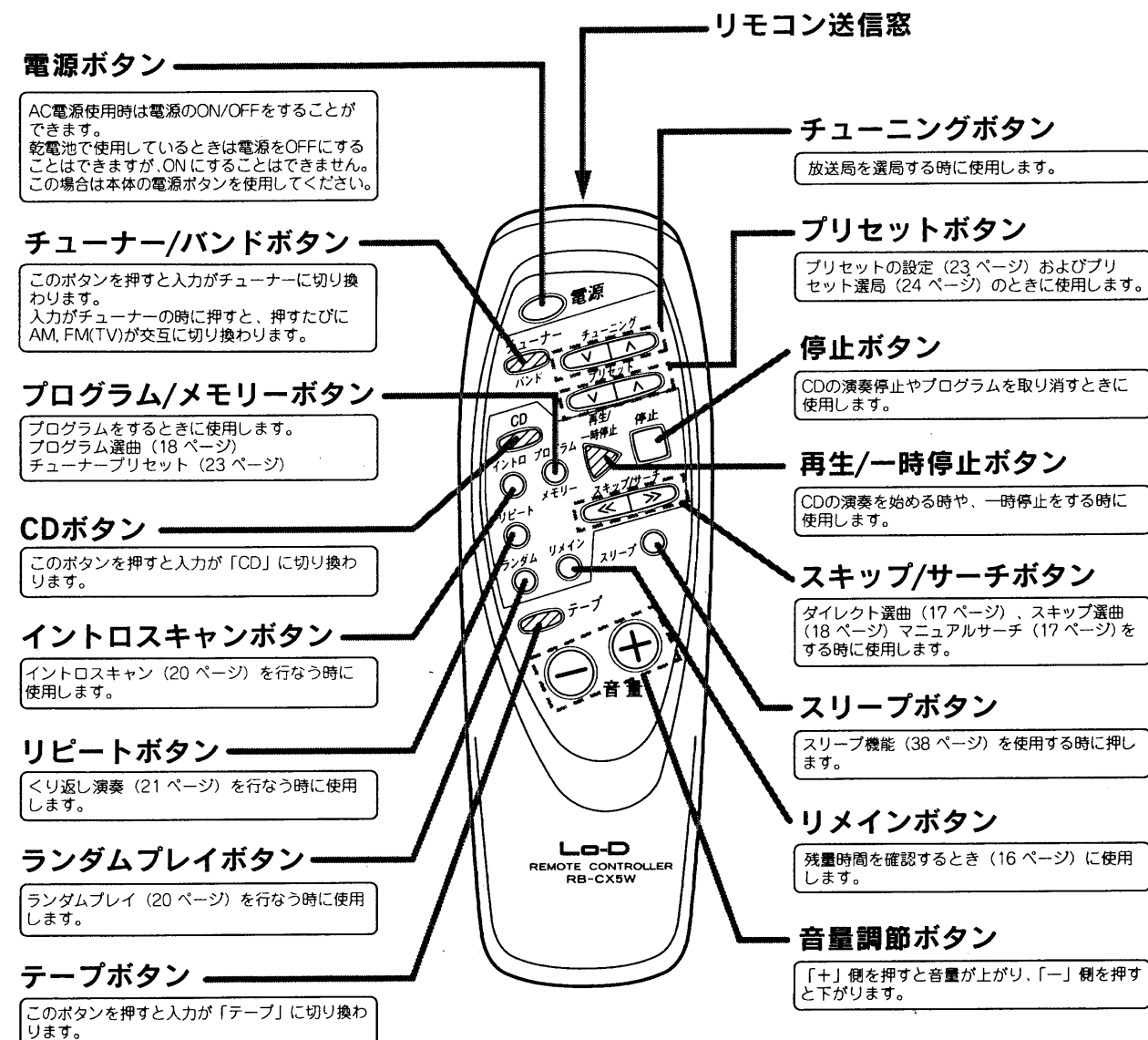



後面



リモコンの使いかた

各部の名称とはたらき



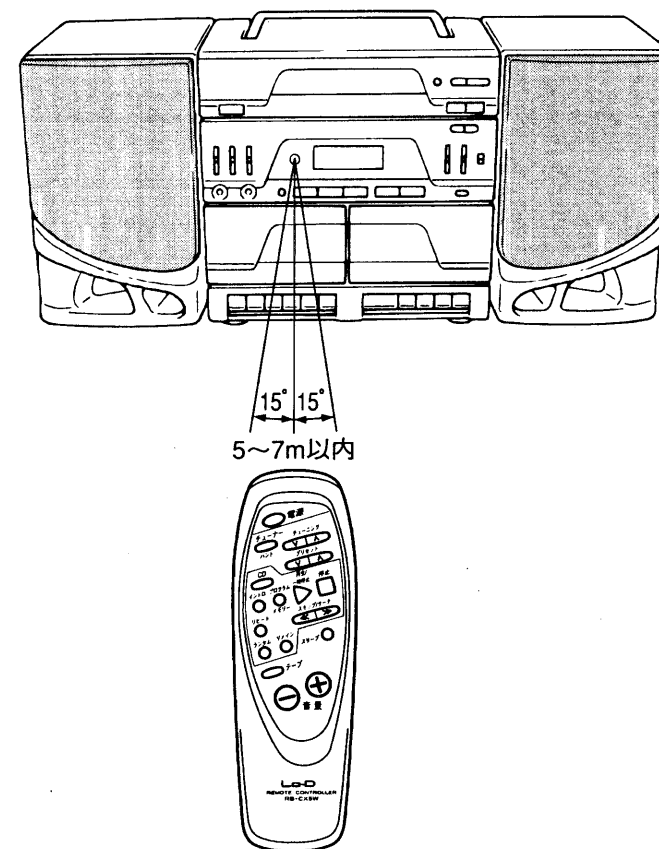
 の操作ボタンは、押したボタンの入力に自動的に切り換わります。(オートファンクション)

操作時のご注意

- リモコンを操作するときは、ゆっくりと確実にボタンを押してください。操作ボタンの早押しをすると、本体が受け付けられないことがあります。
- リモコンとリモコン受信窓の間に障害物があると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンの動作範囲内でも動作しないことがあります。そのときは2本とも新しい乾電池と交換してください。
- リモコンに水などの液体をかけたたり、滴下させないでください。内部に液体が入ると、リモコンでの操作ができなくなります。

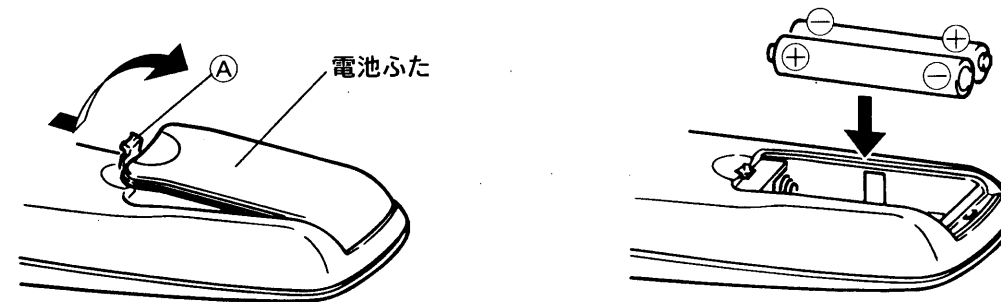
リモコンの使える範囲

リモコンは、本体のリモコン受信窓に向けて操作してください。
動作範囲は、リモコン受信窓に対して、上下左右方向で約15°ずつ、直線距離で5~7m以内です。それ以外の範囲では、本体が受け付けられないことがあります。



電池の入れかた

- ① 電池ふたの(A)部を矢印の方向に引き上げると、電池ふたがはずれます。
- ② 電池の⊕、⊖を確認して正しく入れてください。電池は付属の単4乾電池2個を使用します。
- ③ 電池を入れ終わったら、電池ふたを取り付けます。
乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。5ページの乾電池に対する「ご注意」をよくお読みになって、正しく取り扱ってください。



現在時刻の合わせかた

電源コードを接続すると、時計表示の「0:00」が点滅します。

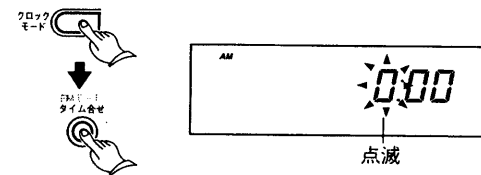
● 現在時刻の設定は電源が入った状態で行ないます。

■ 初めに現在時刻を設定するには

たとえば午後6:30に合わせるとき

1 時刻合わせ開始。

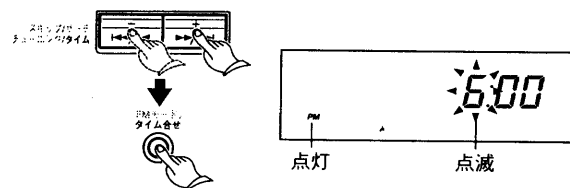
クロックモードボタンを押した後、タイム合わせボタンを押します。



● 時刻表示の「時」表示が点滅します。

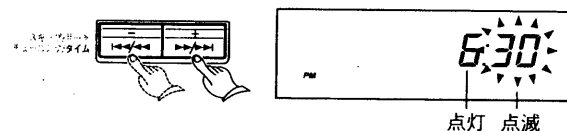
2 「時」を合わせる。

タイムボタンを押して、午後6時 (PM:6) に合わせ、タイム合わせボタンを押します。



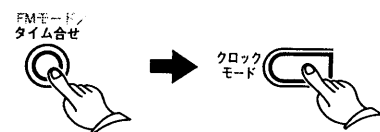
3 「分」を合わせる。

タイムボタンを押して、30分を合わせます。



4 時刻合わせ終了。

タイム合わせボタンを押した後、クロックモードボタンを押します。この時から、時計は動作を始めます。



- 現在時刻は12時間表示ですので夜の12時は「AM0:00」、昼の12時は「PM0:00」です。
- 現在時刻を合わせている途中、30秒間操作を中断すると前の状態に戻ります。このときは、もう一度始めから操作しなおしてください。

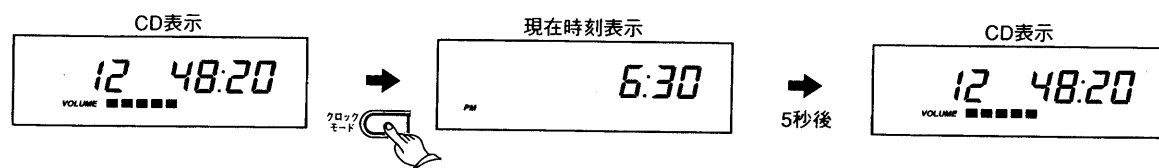
■ 現在時刻の確認/変更について

現在時刻の確認/変更は、入力切換の位置に関係なく行なうことができます。またCDの演奏、テープの再生・録音中、放送の受信中にも行なうことができます。ただし、タイマー再生およびタイマー録音中はできません。

● 現在時刻の確認

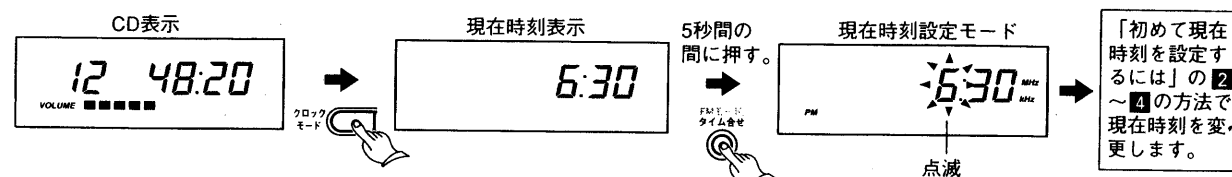
現在時刻の確認をするには、クロックモードボタンを押します。5秒間現在時刻を表示後、元の表示に戻ります。

(例) 入力切換がCDでCDが停止中のときは



● 現在時刻の変更

現在時刻を変更するには上記「現在時刻の確認」で現在時刻表示をしている5秒間の間にタイム合わせボタンを押します。現在時刻設定モードになり現在時刻を変更することができます。



電源をOFFにすると現在時刻表示になります。

入力切り換えについて

- マーク付きの操作はリモコンでも操作できます。

入力切り換えのしかた

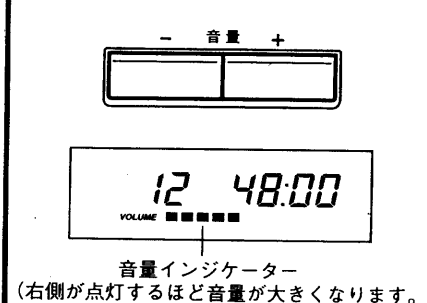
- 入力切り換えは、本体の入力切換ボタンまたはリモコンの操作ボタンによって切り換えます。
 本体またはリモコンの入力切換ボタン (CD) CDプレーヤーを聴くとき
 本体またはリモコンの入力切換ボタン (チューナー/バンド) FM/AM/TV放送を聴くとき
 本体またはリモコンの入力切換ボタン (テープ) テープデッキを聴くとき

オートファンクション機能について

- CDの再生/一時停止ボタンを押すと自動的に入力がCDに切り換わります。(本体・リモコン操作)
- チューナー/バンドボタンを押すと自動的に入力がチューナー (FM/AM/TV) に切り換わります。(本体・リモコン操作)
- テープボタンを押すと自動的に入力がテープに切り換わります。(本体・リモコン操作)

音量・音質・バランス調節について

音量調節のしかた

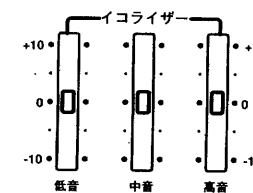


音量調節ボタンの「+」側を押すと音が大きくなり、「-」側を押すと小さくなります。

- 音量の大きさは、音量インジケータに表示されます。

録音レベルの高いCDやテープなどを再生するとき、音量を上げすぎると音がひずんだり、スピーカーを破損する恐れがあります。音量調節に十分注意してください。

音質調節のしかた



音質はイコライザー調節つまみで調節します。

つまみを上 (+10) 側にするると、その周波数の音が強調され、下 (-10) 側にするると弱められます。自分の好みに合わせて調節してください。

- 中央 (0) の位置が標準的なレベルとなります。
 高音：シンバルなどの高音域の音に効果があります。
 中音：ボーカルなどの中音域の音に効果があります。
 低音：ドラムなどの低音域の音に効果があります。

バランス調節のしかた



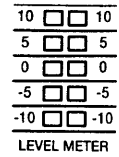
左右の音量バランスを調節します。

中央から上 (左) にすると音が左に寄り、下 (右) にすると右に寄ります。

- 通常は中央の位置にしておきます。
- 左右の音量が違いすぎると、ステレオの音の広がりや動きがあまり感じられなくなります。

音量・音質・バランス調節について(つづき)

レベルメーターについて



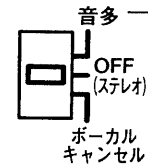
レベルメーターは再生される音楽信号の強さを表示します。「10」側が点灯するほど強く、「-10」側になれば弱いことを示します。

ご注意 レベルメーターで示されるレベルは音量・音質・バランス調節とは関係ありません。また、このレベルはモノラルで左右共に同じレベルを表示します。

カラオケ切換スイッチについて

カラオケ切換スイッチについて

カラオケ

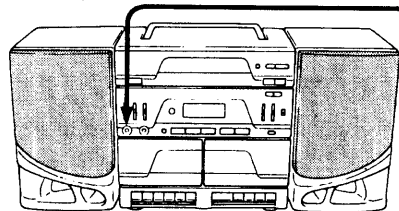


- 音声多重のCDやテープを使用して、カラオケを行なうときにこの位置にします。
- 音多、ボーカルキャンセル機能を使用しないときはこの位置にします。(カラオケとして使用しないときは、この位置にしておいてください。)
- 通常のソフトをカラオケソースとして楽しむときはこの位置にします。この位置にすると、ボーカルキャンセル調節つまみがはたらきます。

ヘッドホンでお聴きになるとき

夜間などにヘッドホンで音楽を楽しまれるときは、別売のステレオヘッドホン (HD-M44など) のステレオミニプラグを本体のヘッドホン端子に差し込みます。ヘッドホンの音量は、音量調節ボタンで調節します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーから音は出なくなります。

ヘッドホンは目を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



■ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮 (おもいやり) を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

コンパクトディスクについて



本機のCDプレーヤーで演奏できるディスクは、左記のマークがついているものです。

- ① 右手で左右を持ち、左手で上下を持ってフタを開けます。
- ② センターホルダーを押さえながらディスクを持ち上げます。
- ③ ディスクの縁を持ち、表面に触れないように扱ってください。

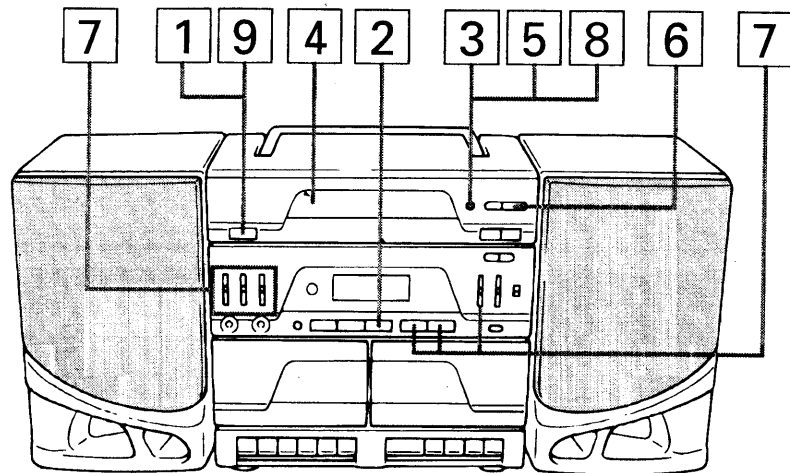
取り扱いについて

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。
- 熱を加えないでください。
- 曲げたりしないでください。
- 表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面 (印刷面) にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどでふかないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて演奏できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘアードライヤー等で乾かさなないでください。

保管について

- 長期間本機を使用しないときは、必ずディスクを本機から取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所には置かないでください。ディスクに反りなどが生じて、演奏できなくなることがあります。
 1. 直射日光が長時間あたるところ。
 2. 湿気、ほこりなどが多いところ。
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ。

CDを演奏してみよう



- マーク付きの操作は.....リモコンでも操作できます。
- カラオケ切換スイッチを「OFF」の位置にしてください。

1曲目から演奏を始めるには

<p>1 電源を入れる。</p> <p>電源</p> <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をONすることはできません。</p>	<p>2 入力を「CD」に切り換える。</p> <p>CD</p> <p>CDトレイにディスクが入っていない時は、表示部に「00」表示の後、「disc」と表示されます。</p>	<p>3 CDトレイを開ける。</p> <p>CDトレイ開/閉</p> <p>●表示部に「OPEN」と表示されます。</p>
--	---	---

<p>4 ディスクをセットする。</p> <p>コンパクトディスク（12cm、8cm）は、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。（コンパクトディスクの演奏は片面だけです。）</p> <p>レーベル面（印刷面）</p> <p>CDトレイの中央に確実にのせます。8cmディスクはCDトレイにある8cmディスク用溝の内側にセットしてください。正しくのせないとディスクを傷めることがあります。</p>	<p>5 CDトレイを閉める。</p> <p>CDトレイ開/閉</p> <p>CDトレイを閉めると総曲数、総演奏時間が表示されます。</p> <p>総曲数 総演奏時間</p> <p>12 48:20</p> <p>VOLUME ■■■■■</p>
--	--

<p>6 演奏を始める。</p> <p>再生/一時停止 タイマー</p> <p>点灯 演奏中の曲番 演奏経過時間</p> <p>VOLUME ■■■■■</p>	<p>7 音量・音質・バランスを調節する。</p> <p>●リモコン操作は音量調節のみです。</p> <p>くわしくは[11]ページをご覧ください。</p>
---	---

演奏の一時停止

再生/一時停止 タイマー

点灯

VOLUME ■■■■■

演奏を再開するときは、もう一度押します。

演奏を途中で止めるとき

停止

総曲数 総演奏時間

VOLUME ■■■■■

すべての演奏が終了したときは、自動的に止まります。

聴き終わったら

<p>8 ディスクを取り出す。</p> <p>CDトレイ開/閉</p> <p>ディスクを取り出したらCDトレイを閉めておいてください。</p>	<p>9 電源を切る。</p> <p>電源</p> <p>●スタンバイインジケータが点灯します。（家庭用AC100V電源で使用する時のみ点灯し、乾電池で使用する時は点灯しません。）</p>
--	---

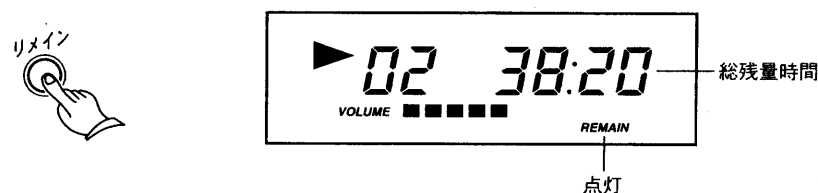
ご注意

- CDトレイに異物を入れたり、無理に手で開閉したりしないでください。故障の原因になります。
- CDプレーヤーを使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐため、CDトレイを閉めておいてください。
- テレビの近くでCDを演奏すると、テレビの画面や音声に影響を与えることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。

CDを演奏してみましよう(つづき)

残量時間表示機能について (リモコン操作のみ)

演奏中または一時停止中に残量時間ボタンを押すと、演奏中のディスクの総残量時間を表示させることができます。また全曲くり返し演奏の場合は1回分のくり返しの総演奏時間に対する残り時間を表示します。



●表示を戻すときは、もう一度残量時間ボタンを押します。

■以下のときは残量時間ボタンを押しても受けつけません。

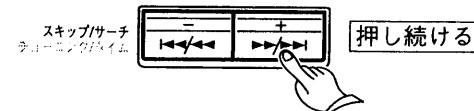
- (1) ランダムプレイ中
- (2) 1曲リピート演奏中 (全曲リピート演奏中は受けつけます。)
- (3) イントロスキャン中
- (4) プログラム演奏中

CD演奏の便利な使いかた

演奏中にすばやく好きなところをさがすには マニュアルサーチ

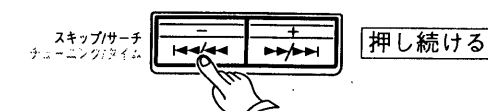
演奏中にスキップ/サーチボタンで早送り/早戻しができます。

早送り



指をはなすと通常の演奏に戻ります。

早戻し



指をはなすと通常の演奏に戻ります。

マニュアルサーチについて

- 演奏中にスキップ/サーチボタンを押し続けると、音を聴きながら好きなところをさがせます。
- マニュアルサーチ中は、通常の演奏より小さな音になります。
- 一時停止状態でマニュアルサーチを行なうと、音を出さずに早送りや早戻しができます。
- 早戻しでマニュアルサーチ中にディスクの1曲目の始めまでくると1曲目の始めから演奏が始まります。(一時停止状態の場合には、1曲目の始めで一時停止状態となります。) また早送りで最終曲の終わりまでくると停止状態になります。

好きな曲から演奏を始めるには ダイレクト選曲

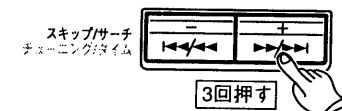
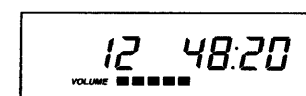
演奏する前に、スキップ/サーチボタンで好きな曲番を選んでください。その曲番から演奏を始めます。

たとえば12曲入りのディスクの3曲目から演奏を始めるとき

停止状態から操作します。

1 曲番を選ぶ。

2 演奏を始める。



3回押す



タイマー

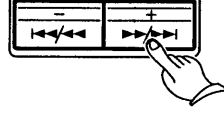
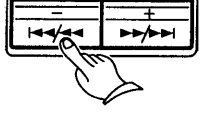
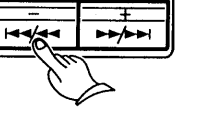


- スキップ/サーチボタンは、停止中に押し続けると連続して曲番が変わります。最終曲でさらに押し続けると1曲目に戻ります。
- スキップ/サーチボタンの左側 (⏮) を押すと前の曲へ戻ります。1曲目でさらに押すと最終曲に戻ります。

CD演奏の便利な使いかた(つづき)

演奏中に好きな曲へ飛ぶには スキップ選曲

たとえば5曲目演奏中のとき

次の曲(6曲目)を聴く	もう一度(5曲目)聴く	前の曲(4曲目)を聴く
 <p>「ボン」と1回押す</p> <p>1回「ボン」と押すと、次の曲へ移り、押す回数により次の曲、次の曲へと移ります。</p>	 <p>「ボン」と1回押す</p> <p>1回「ボン」と押すと、今聴いている曲の頭に戻ります。</p>	 <p>「ボン」「ボン」と2回押す</p> <p>連続して2回「ボン」「ボン」と押すと前の曲に戻り、押す回数により前の曲、前の曲へと戻ります。</p>

ご注意

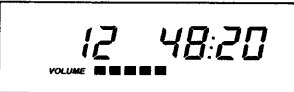
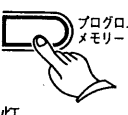
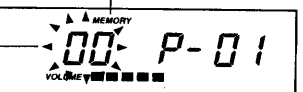
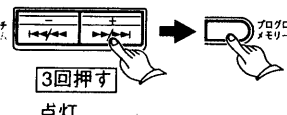
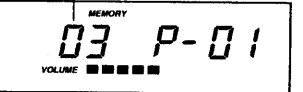
スキップ選曲を行なうときは、スキップ/サーチボタンを「ボン」と短く押してください。スキップ/サーチボタンは、押し続けるとマニュアルサーチ(17ページ参照)動作になります。

好きな曲を選び好きな順番で演奏するには プログラム選曲

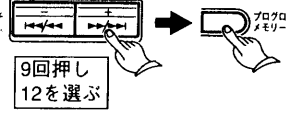
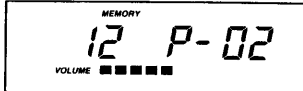


最大20曲まで好きな順番でプログラム演奏ができます。

たとえば12曲入りのディスクで3曲目→12曲目の順に演奏するとき

停止状態から操作します。 **1** プログラムモードにする。 **2** 3曲目をメモリーする。

	  <p>点灯</p>	  <p>3回押す</p> <p>点灯</p> <p>プログラム曲順表示</p>
---	--	---

3 12曲目をメモリーする。 **4** 演奏を始める。

  <p>9回押し</p> <p>12を選ぶ</p>	  <p>再生/一時停止</p> <p>タイマー</p> <p>点灯</p> <p>演奏が終わると、メモリーインジケータは消えますがプログラムは残ります。</p>
---	--

プログラムの確認/変更・追加



確認: プログラム終了後、プログラム/メモリーボタンを押します。ボタンを押すごとにプログラムした順に曲番が表示されます。

変更、追加: プログラム/メモリーボタンで変更、追加したい曲番を選び、スキップ/サーチボタンで選曲後、再度プログラム/メモリーボタンを押せば、プログラムを変更、追加することができます。

プログラムの取消し



プログラム演奏の取消し:
演奏中、停止ボタンを押します。(メモリーされているプログラムは残ります。)

プログラムメモリーの取消し:
停止中、プログラム/メモリーボタンを押して、右図のプログラム表示をさせます。この状態で停止ボタンを押すとメモリーが取り消されます。



プログラム演奏中にできる操作

- プログラムを消さずに、次の操作ができます。
- 停止
 - 一時停止
 - スキップ選曲 (プログラムされている順に飛びます。)
 - 早送り、早戻し
 - くり返し演奏 (プログラムされている曲の1曲または全曲)

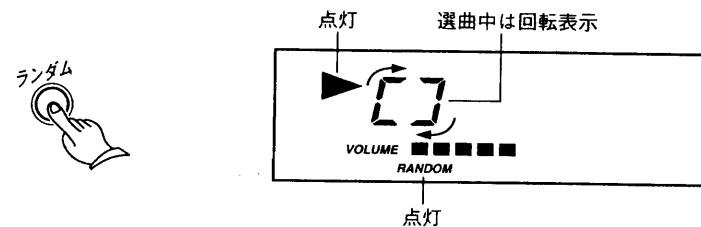
このようなときプログラムは取り消されます

- ファンクション切換スイッチを「CD」から他に切り換えたとき。
- CDトレイを開いたとき。
- 電源を切ったとき。

CD演奏の便利な使いかた (つづき)

自動的に曲順を並べ変えて演奏するには...ランダムプレイ(リモコン操作のみ)

1 ランダムプレイを始める。



ディスクに収められている曲の順番を自動的に並べ変えて演奏を始めます。
ランダムプレイは、停止状態あるいは演奏中でも始めることができます。

- 演奏中に前進スキップ/サーチボタン (▶▶) を押すと、新たに曲順を変えて演奏します。
- 演奏中に後退スキップ/サーチボタン (◀◀) を押すと、現在演奏している曲の頭に戻り、演奏を始めます。前の曲には戻りません。

ランダムプレイを取り消すには



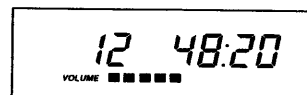
- ディスク内のすべての曲を演奏し終わると、自動的に停止します。

曲の始めの部分(イントロ)を約10秒ずつ演奏するには...イントロスキャン(リモコン操作のみ)

停止状態から操作します。

2 イントロスキャンを始める。

演奏を止めるときは



ディスク内のすべての曲を演奏し終わると、自動的に停止します。

- イントロスキャン中に再度イントロスキャンボタンを押すと、押した所から通常演奏になります。(イントロスキャンは取り消されます。)

1曲だけくり返し演奏するには...1曲リピート(リモコン操作のみ)

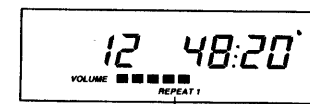
停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

1 1曲リピートモードにする。

2 演奏を始める。



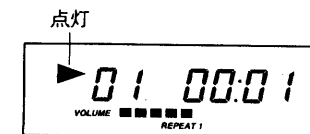
1回押す



点灯



タイマー



1曲だけをくり返し演奏します。

全曲をくり返し演奏するには...全曲リピート(リモコン操作のみ)

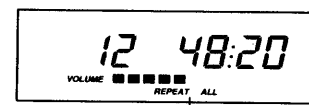
停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

1 全曲リピートモードにする。

2 演奏を始める。



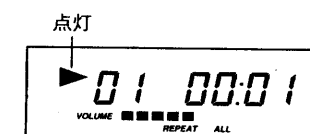
2回押す



点灯



タイマー



全曲をくり返し演奏します。

くり返し演奏の取り消し

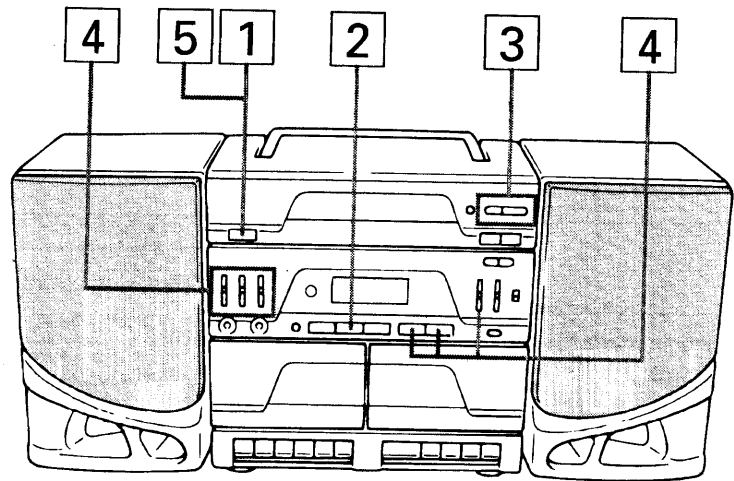


- リピートボタンを押し (1曲リピートの場合は2回、全曲リピートの場合は1回) リピートインジケータを消灯させます。
- 停止ボタンを押して演奏を停止したときもくり返し演奏は取り消されます。

便利な使いかた

- CDのプログラムを行なった後、リピートボタンを押すと、プログラムした曲をくり返し演奏することができます。(プログラムリピート)
- ランダムプレイボタンを押しランダムプレイを選んだ後、リピートボタンを押すと、ランダムプレイのくり返し演奏をすることができます。(ランダムリピート)
- くり返し演奏 (1曲リピート、全曲リピート、プログラムリピート、ランダムリピート) の設定は演奏中でもできます。

放送の受信



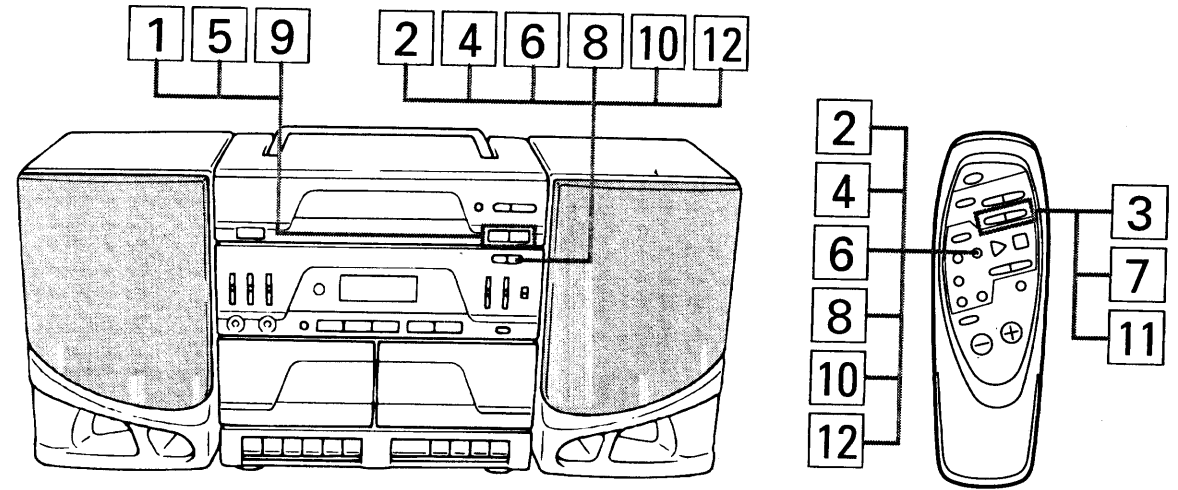
- マーク付きの操作は リモコンでも操作できます。
- カラオケ切換スイッチを「OFF」の位置にしてください。

<p>1 電源を入れる。</p> <p>電源</p> <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をONすることはできません。</p>	<p>2 入力を「チューナー」に切り換え、希望のバンドを選ぶ。</p> <p>チューナーバンド</p> <p>このボタンを押すごとに受信バンドがFM↔AMと交互に切り換わります。</p>	<p>3 放送局を選ぶ。</p> <p>スキップサーチ チューニングタイム</p> <p>詳しくは下欄「選局のしかた」をご覧ください。</p>
<p>4 音量・音質・バランスを調節する。</p> <p>●リモコン操作は音量調節のみです。</p> <p>くわしくは[11]ページをご覧ください。</p>		<p>5 電源を切る。</p> <p>電源</p> <p>●スタンバイインジケータが点灯します。(家庭用AC100V電源で使用している時のみ点灯し、乾電池で使用している時は点灯しません。)</p>

選局のしかた (マニュアル/オートチューニング)

- FM放送
チューニングボタンの「+」または「-」(リモコンでは「∨」、「∧」)を「ポン」と押すと、周波数表示が0.1MHzずつ変化します(マニュアルチューニング)。ボタンを1秒以上押し続けると周波数表示は連続的に変化します。このときボタンから指をはなしておく、放送を受信したところで自動的に止まります(オートチューニング)。
- AM放送
チューニングボタンの「+」または「-」(リモコンでは「∨」、「∧」)を「ポン」と押すと、周波数表示が9kHzずつ変化します(マニュアルチューニング)。ボタンを1秒以上押し続けると周波数表示は連続的に変化します。このときボタンから指をはなしておく、放送を受信したところで自動的に止まります(オートチューニング)。
- TV放送
FMバンドで受信できます。周波数表示が89.9MHzを過ぎるとTVバンドとなり、チューニングボタンの「+」または「-」(リモコンでは「∨」、「∧」)を「ポン」と押すとチャンネル表示が1CHずつ、1CHから3CHまで変化します(マニュアルチューニング)。1秒以上押し続けると、チャンネルは連続的に変化します。このときボタンから指をはなしておく、放送を受信した所で止まります(オートチューニング)。
- オートチューニング中、途中で停止させる場合は「+」または「-」(リモコンでは「∨」、「∧」)を「ポン」と押します。

便利なプリセット選局



- マーク付きの操作は リモコンでも操作できます。

プリセットのしかた ... FM/AM/TV放送を合わせて合計30局プリセットできます。

たとえばプリセット番号1にAM放送局の594kHzを、番号2にTVの1CHを、番号3にFM放送局の82.5MHzをプリセットするには

プリセットNo.	受信局の周波数
1	AM 594kHz
2	TV 1 CH
3	FM 82.5MHz

<p>1 AM放送局の594kHzを受信する。</p> <p>22ページの「放送の受信」にしたがって、AM594kHzを受信します。</p>	<p>2 プリセット設定モードにする。</p> <p>5秒間点滅</p>
<p>3 プリセット番号を選ぶ。(リモコン操作のみ)</p> <p>5秒間点滅</p> <p>選んだプリセット番号</p> <p>メモリーインジケータが点滅中(5秒間)にリモコンのプリセットボタンでプリセット番号1(01)を選びます。</p>	<p>4 プリセットする。</p> <p>点灯</p> <p>メモリーインジケータが点灯し、プリセット番号1(01)にAM594kHzがプリセットされます。</p>
<p>5 TV放送局の1CHを受信する。</p> <p>22ページの「放送の受信」にしたがって、TV1CHを受信します。</p>	<p>6 プリセット設定モードにする。</p> <p>5秒間点滅</p>

便利なプリセット選局 (つづき)

<p>7 プリセット番号を選ぶ。(リモコン操作のみ)</p> <p>5秒間点滅</p> <p>選んだプリセット番号</p>	<p>8 プリセットする。</p> <p>点灯</p> <p>選んだプリセット番号</p>
<p>9 FM放送局の82.5MHzを受信する。</p> <p>22ページの「放送の受信」にしたがって、FM82.5MHzを受信します。</p>	<p>10 プリセット設定モードにする。</p> <p>5秒間点滅</p>
<p>11 プリセット番号を選ぶ。(リモコン操作のみ)</p> <p>5秒間点滅</p> <p>選んだプリセット番号</p>	<p>12 プリセットする。</p> <p>点灯</p> <p>1~12の手順をくり返し合計30局をプリセットすることができます。</p>

プリセットした放送局を変更した場合は
プリセットするときと同じ手順で再度プリセットしなおします。

プリセットした放送局の選局の方法

- 操作はリモコンで行ないます。
- FM/AM/TVの好みの放送局をプリセットしてある状態で行ないます。

1 プリセット選局する。 (リモコン操作のみ)

プリセットボタンで好みのプリセット番号を選びます。
〈例〉プリセット番号3を選んだ場合

点灯

選択されたプリセット番号を表示します

FMモード切換スイッチについて

- FM放送を聴くとき

このボタンを押すごとにステレオモードとモノラルモードが交互に切り換わります。
ステレオモードでFMステレオ放送を受信すると、放送をステレオで聴くことができます。FM放送をステレオで聴くとき雑音が多かったり、音声が途切れるような場合はモノラルモードにします。ステレオで聴くことはできませんが、雑音や音切れが軽減されます。

FMモード/タイム合せ

点灯

FM STEREO

82.5 MHz

- TV(1~3CH)はステレオでは聴けません。

マイコンビートキャンセルスイッチ(MB)について

A B MB

放送を受信中「ピー」などのビート音が出る場合は、後面のマイコンビートキャンセルスイッチを切り換えてビート音の小さくなる位置にします。

アンテナについて

FM/AM/TV放送を聴くには、アンテナが重要なはたらきをします。

<p>FM放送、TV放送を聴くとき</p> <p>ロッドアンテナを伸ばし、角度・方向・長さを調節して、雑音が最も小さく、放送がきれいに聴こえる位置を選びます。</p>	<p>AM放送を聴くとき</p> <p>本機をゆっくり回して、雑音が最も小さく、放送がきれいに聴こえる方向を選びます。</p>
--	--

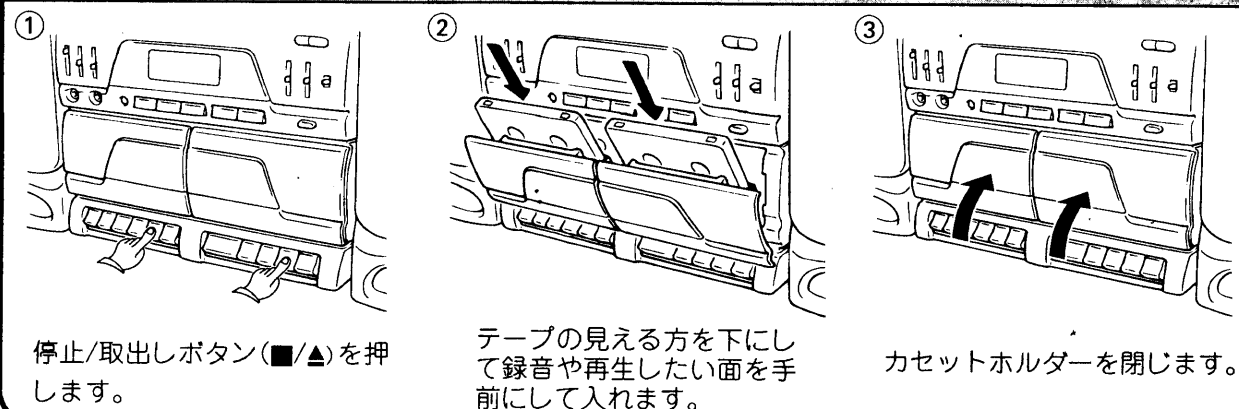
●FM放送やTV放送をお聴きになるとき、他の放送と混信する場合には、ロッドアンテナを縮めてください。

注意

- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、テレビ放送を受信していると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用していますので、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

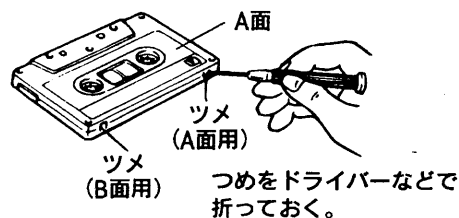
テープ再生・録音を始める前に

カセットテープの入れかた



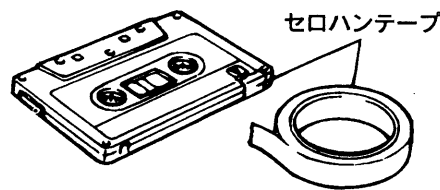
カセットテープについて

大切な録音内容を誤って消さないようにするには

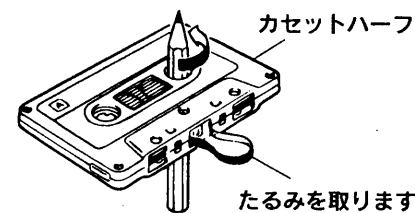


録音すると、前に録音した内容は消えてしまいます。「つめ」の部分を折り取ると録音できなくなり、誤って消すことがありません。

「つめ」を折ったテープに録音するには



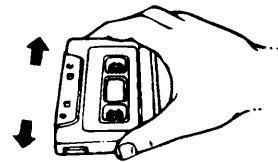
テープがたるんだときは



鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。

テープがかたく巻きしまったときは

テーブルなどの上でカセットテープの両面を軽く数回たたか、一度巻き直してからご使用ください。



使用できるテープについて

本機で録音、再生できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。

C-120テープは

このテープは薄いため、テープがかたく巻きしまったり、テープ巻き込み、からみなどの原因となりやすいので、できるだけ使用をさけてください。

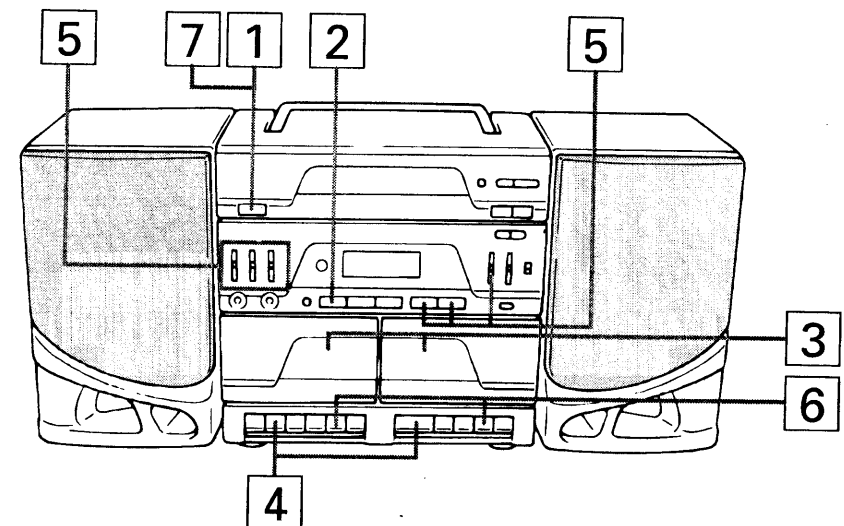
エンドレステープ

本機でエンドレステープを使用することはできません。

保管するときは

プラスチックケースに入れ、直射日光、高温多湿、磁気およびほこりの多い場所をさけてください。

テープを再生してみよう (TAPE1 TAPE2)



- マーク付きの操作は.....リモコンでも操作できます。
- カラオケ切換スイッチを「OFF」の位置にしてください。

<p>1 電源を入れる。</p> <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をONすることはできません。</p>	<p>2 入力を「テープ」に切り換える。</p> <p>点灯 TAPE VOLUME ■■■■■■ 8:25</p>	<p>3 テープを入れる。</p> <p>26 ページ</p> <p>「カセットテープの入れかた」にしたがってカセットテープを入れます。</p>
<p>4 再生を始める。</p> <p>再生したい側の再生ボタンを押します。</p> <p>TAPE2 再生 TAPE1 再生</p> <p>TAPE1、TAPE2を共に再生状態にするとTAPE1の音が聴こえます。(TAPE1優先)</p>		<p>5 音量・音質・バランスを調節する。</p> <p>●リモコン操作は音量調節のみです。</p> <p>くわしくは[11]ページをご覧ください。</p>
<p>聴き終わったら...</p>		
<p>6 テープを止め、テープを取り出す。</p> <p>停止/取出しボタンを押します。</p> <p>●停止状態でもう一度押すとカセットホルダーが開きます。</p>	<p>7 電源を切る。</p> <p>●スタンバイインジケータが点灯します。(家庭用AC100V電源で使用している時のみ点灯し、乾電池で使用している時は点灯しません。)</p>	

再生中の一時停止

再生を再開するときは、もう一度押します。


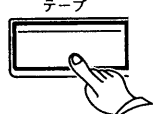
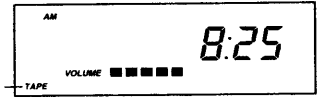

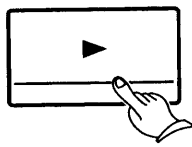
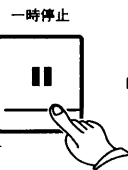
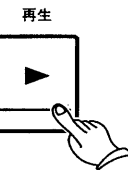
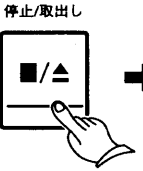
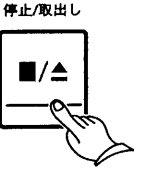

フルオートストップ機構について

再生、録音、早送り、巻戻しのとき、テープが最後までくるとテープは自動的に停止し、押されているボタンも元に戻ります。

テープ再生の便利な使いかた

TAPE1, TAPE2のテープを続けて再生するには.....連続再生

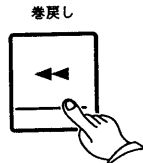
連続再生はTAPE1からTAPE2の順に始まります。逆の順には始まりません。

1 電源を入れる。	2 入力を「テープ」に切り換える。	3 テープを入れる。
 <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をONすることはできません。</p>	  <p>点灯 TAPE</p>	 <p>「カセットテープの入れかた」にしたがってTAPE1、TAPE2にカセットテープを入れます。</p>
4 TAPE1を再生する。	5 TAPE2を再生待機状態にしておく。	
 <p>TAPE1の再生が始まります。 ●音量・音質・バランスを調節してください。 (11)ページをご覧ください。</p>	 →  <p>TAPE2の一時停止ボタンを押した後、再生ボタンを押します。</p> <p>TAPE1の再生が終わると、TAPE2の一時停止が自動的に解除され、TAPE2の再生が始まります。</p>	
聴き終わったら		
6 テープを止め、テープを取り出す。	7 電源を切る。	
 →  <p>停止/取出しボタンを押します。 ●停止状態でもう一度押すとカセットホルダーが開きます。</p>	 <p>●スタンバイインジケータが点灯します。 (家庭用AC100V電源で使用している時のみ点灯し、乾電池で使用している時は点灯しません。)</p>	

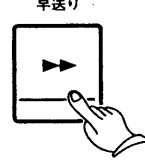
早送り、巻き戻しは

早送りまたは巻き戻しを行なうときは、停止/取出しボタンを押して、停止状態にしてから早送りまたは巻き戻しボタンを押してください。

●巻き戻し

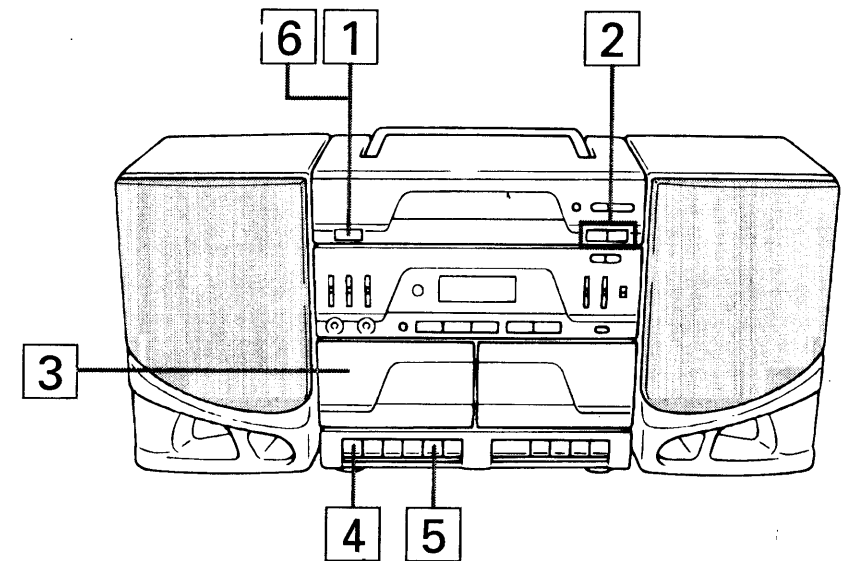


●早送り



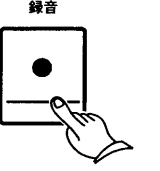
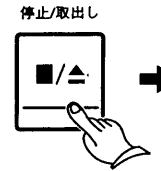

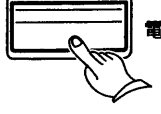


録音するには...ラジオ録音(TAPE2)

●本機で録音できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。



●マーク付きの操作は.....リモコンでも操作できます。
●カラオケ切換スイッチを「OFF」の位置にしてください。

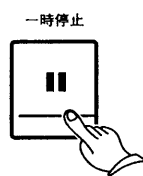
1 電源を入れる。	2 放送の受信。	3 テープを入れる。
 <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をONすることはできません。</p>	<p>録音したい放送を(22)ページの手順2~3にしたがって選びます。 ●プリセット選局で放送を選ぶこともできます。(24)ページ参照)</p>	 <p>「カセットテープの入れかた」にしたがってカセットテープを入れます。 ●「つめ」が折れているテープは録音できません。(26)ページ参照)</p>
4 録音を始める。	録音が終わったら!!!	
 <p>録音ボタンを押します。 (同時に再生ボタンも押し込まれます。) ●録音レベルは自動的に調節されます。</p>	5 テープを止め、テープを取り出す。	6 電源を切る。
	 →  <p>停止/取出しボタンを押します。 ●停止状態でもう一度押すとカセットホルダーが開きます。</p>	 <p>スタンバイインジケータが点灯します。 (家庭用AC100V電源で使用している時のみ点灯し、乾電池で使用している時は点灯しません。)</p>

一時停止状態にしてから録音を始めるには

- 1.カセットテープを入れた後、一時停止ボタンを押します。
- 2.録音ボタンを押し、録音一時停止状態にします。
- 3.録音を始めるには、もう一度一時停止ボタンを押します。

録音するには...ラジオ録音(TAPE2)(つづき)

録音中の一時停止



録音を再開するときはもう一度押します。

録音するときの注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前に試しに録音して正常に録音されていることを確認してください。
- ご使用中、万一本機やテープなどの不具合により、録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機は、クロム・メタルテープでの録音はできません。(音質が悪くなったり、録音済の音が消えない現象が起きます。)

録音内容を消去するには

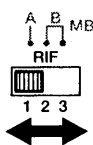
録音済みのテープに新しく録音すると、前の録音内容は消えますが、新しい録音をしないで前の録音内容を消したいときは、次のようにします。

- ファンクション切換スイッチを「テープ」にして録音の操作を行ないます。この時、TAPE1は再生状態にしないでください。ダビング状態となります。

上手に録音するには

- カセットテープの巻き始めと巻き終わりの部分には、透明または半透明のリーダーテープがありますが、この部分には録音できません。鉛筆などを使ってあらかじめリーダーテープ部を巻き上げておくと、頭切れのない録音ができます。

- AM放送を録音中、「ピー」というビート音が出る場合は、後面のビートキャンセルスイッチ (RIF) を切り換えてビート音が最も小さくなる位置にします。



著作権について

あなたが本機で録音したものは、個人で楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。(43ページ参照)

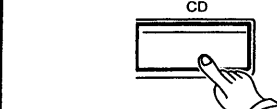
録音するには...CD録音(TAPE2)

ワンタッチでCDを録音するには...CDシンクロ録音

- 1 電源を入れる。
- 2 入力を「CD」に切り換える。
- 3 ディスクを入れる。



本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をONすることはできません。

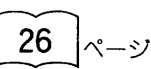


CDトレーにディスクが入っていない時は、表示部に「00」表示の後、「DISC」と表示されます。

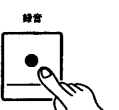


「CDを演奏してみましょう」の3～5の操作を行ないます。

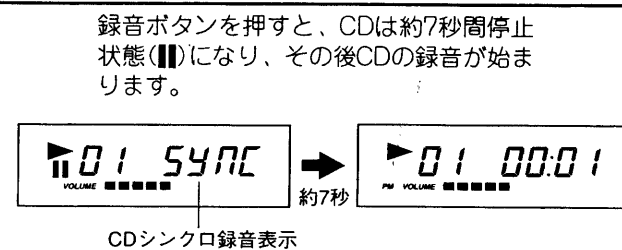
- 4 テープを入れる。
- 5 CDシンクロ録音開始。



「カセットテープの入れかた」にしたがって録音するテープをTAPE2に入れます。

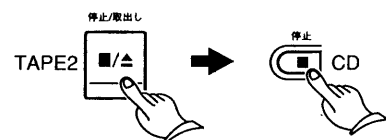


- 録音レベルは自動的に調節されます。

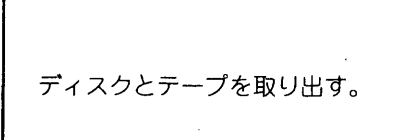


録音が終わったら...

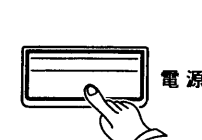
- 6 停止/取り出しボタンを押す。
- 7 ディスク、テープを取り出す。
- 8 電源を切る。



TAPE2の停止/取り出しボタンを押すと、ディスクは一時停止状態となります。その後、CDの停止ボタンを押してCDを停止させます。
●CDの停止ボタンを押すと、ディスクは止まりますがTAPEの録音は続きますので、TAPEの停止/取り出しボタンを押してTAPEの録音を止めてください。



ディスクとテープを取り出す。



- スタンバイインジケータが点灯します。(家庭用AC100V電源で使用している時のみ点灯し、乾電池で使用している時は点灯しません。)

便利な使いかた



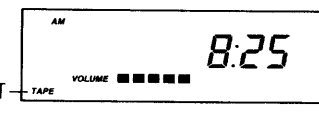

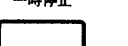

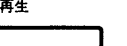


CDシンクロ録音中にテープの片面を録音終了すると、CDは一時停止状態となります。(CDシンクロ録音は解除されません。)その後テープを入れ換えて、TAPEの録音ボタンを押すと続けてCDシンクロ録音をすることができます。
●CDをテープの両面に録音するとき、テープの片面の録音が終了すると、録音が止った所でCDが一時停止状態となりますので、テープを反対面に入れ換えれば、録音が止った所から再び録音をすることができ便利です。

ご注意

- CDシンクロ録音中はファンクション切換スイッチをCD以外に切り換えることはできません。
- CDシンクロ録音中に働くCD操作部ボタンは停止ボタンのみです。停止ボタン以外は受け付けません。
- 好きな曲からCDシンクロ録音を始めるときには、17ページのダイレクト選曲で曲番を選んでから録音ボタンを押します。また18ページでプログラムした曲の順に録音することもできます。

録音するには.....テープ録音(ダビング)

TAPE1からTAPE2へダビングします。
高速ダビングも可能で、通常の約半分の時間でダビングすることができます。

<p>1 電源を入れる。</p>  <p>本体を乾電池で動作している時は、リモコンで電源をONすることはできません。</p>	<p>2 入力を「テープ」に切り換える。</p>  <p>点灯</p> 	<p>3 テープを入れる。</p> <p>26 ページ</p> <p>「カセットテープの入れかた」にしたがって再生用のテープをTAPE1に、録音用のテープをTAPE2に入れます。</p>
<p>4 ダビングスピードを選ぶ。</p>  <p>■ 高速: 高速ダビング時はダビングスピード切換スイッチをこの位置にします。 ■ 定速: 定速ダビング時はダビングスピード切換スイッチをこの位置にします。</p>	<p>5 TAPE2を録音一時停止にする。</p>  <p>一時停止</p>  <p>録音</p> <p>TAPE2の一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押します。</p>	<p>6 TAPE1を再生にする。</p>  <p>再生</p> <p>TAPE2の一時停止ボタンが解除されダビングが始まります。</p>
<p>ダビングを停止するには</p>   <p>TAPE2の停止/取出しボタン、TAPE1の停止/取出しボタンを押します。</p>		<p>ダビングが終わったら</p> <p>テープを取り出し、電源を切ります。</p>

ダビング時の注意

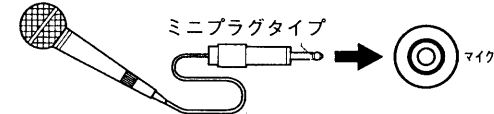
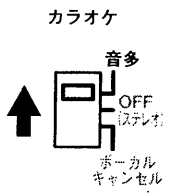

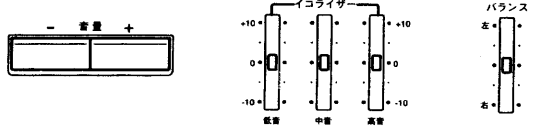
- ダビングの回数を重ねると、徐々に音質が悪くなる場合があります。
- テレビの近くで高速ダビングを行なうと、雑音録音されることがあります。そのときはテレビの電源を切るか、テレビから離れた位置で行なってください。
- 走行時間の異なるテープをTAPE1、TAPE2に使用するとき、再生・録音時間を確かめてダビングを行なってください。

カラオケを楽しむには

本機のカラオケ切換スイッチでCDカラオケやカセットテープカラオケを楽しむことができます。またボーカルキャンセル機能によりカラオケソフト以外のソフトでも手軽にカラオケを楽しむこともできます。

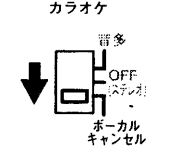
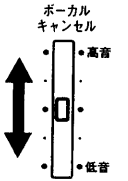
音声多重カラオケソフトを楽しむには

本機の電源を入れ、CDまたはテープをセットし、入力切換をCDまたはテープに合わせておきます。

<p>1 マイクを接続する。</p>  <p>別売りのワイヤードマイク (UDM-K777Aなど)</p> <p>●マイクの手元スイッチを「ON」にしてください。</p>	<p>2 カラオケ切換スイッチを「音多」にする。</p>  <p>●必ず音声多重ソフトをご使用ください。</p>
<p>3 カラオケを始める。</p>  <p>ソースの演奏を始め、マイクでカラオケを始めます。</p>	<p>4 音量・音質・バランスを調節する。</p>  <p>●リモコン操作は音量調節のみです。</p> <p>くわしくは11ページをご覧ください。</p>

通常のソフトでカラオケを楽しむには

本機の電源を入れ、CDまたはテープをセットし、入力切換をCDまたはテープに合わせておきます。

<p>1 マイクを接続する。</p> <p>上記「音声多重カラオケソフトを楽しむには」の1の操作を行ないます。</p>	<p>2 カラオケ切換スイッチを「ボーカルキャンセル」にする。</p>  <p>「ボーカルキャンセル」にするとボーカルキャンセル調節つまみがはたります。</p>	<p>3 カラオケを始める。</p> <p>上記「音声多重カラオケソフトを楽しむには」の3～4の操作を行ないます。</p>	<p>4 ボーカルキャンセル調節つまみで調節する。</p>  <p>歌手の声が最も小さくなるように調節します。</p>
<p>●ボーカルキャンセル機能をはたかせてもソフトによっては歌手の声が十分に消えない場合があります。</p>			

カラオケを楽しまれた後のご注意

- カラオケ切換スイッチは必ず「OFF (ステレオ)」の位置に切り換えておいてください。
- カラオケ切換スイッチが「音多」、「ボーカルキャンセル」のときは、スピーカーからの音はモノラルとなります。

カラオケを楽しむには(つづき)

カラオケ録音のしかた

CDやテープのカラオケソースをバックに歌声を録音することができます。

1 準備。

33 ページ

「音声多重カラオケソフトを楽しむには」
「通常のソフトでカラオケを楽しむには」
にしたがって一度カラオケをしてみます。

2 カラオケ録音開始。

29 ページ

「録音するには」の3～4にしたがって録音を開始し、同時にカラオケを始めます。

カラオケ録音のほかに、ラジオとのミキシング再生、ミキシング録音、マイクだけの録音をすることもできます。

- ラジオミキシング再生.....1.22ページ「放送の受信」の1～3にしたがい放送を選びます。
2.33ページ「音声多重カラオケソフトを楽しむには」の1、3、4の操作を行ないます。
- ラジオミキシング録音.....1.上記「ラジオミキシング再生」にしたがいミキシングします。
2.29ページ「録音するには」の3～4にしたがって録音を始めます。
- マイク録音.....1.マイクを接続します。
2.入力切換を「テープ」にし、マイクより音を入れます。
3.29ページ「録音するには」の3～4にしたがって録音を始めます。

注意

- インピーダンス200Ω～600Ωのマイク(ミニプラグ)を使用してください。マイクが標準プラグのときは、別売りの変換アダプター(HC-501A)を使用してください。
- 音量をあまり大きくしたり、マイクをスピーカーに近づけたりすると、ハウリング(ピーという音)を起こします。
そのときには、
1.マイクの向きを変えるか、スピーカーからなるべく離す。
2.単一指向性のマイク(まわりの音が入りにくいマイク)を使用する。

タイマー再生/録音のしかた

タイマー機能を使えば予約した時刻に再生または録音を自動的に行なうことができます。

タイマー予約する前に

- タイマー予約するときは、現在時刻が正しくセットされていることを確認してください。(10ページ「現在時刻の合わせかた」参照)
- タイマーは電源ON状態で設定します。
- タイマー動作中はタイマー設定はできません。

タイマー再生

たとえばタイマー再生開始時刻を午前7時30分(AM7:30)、終了時刻を午前8時10分(AM8:10)に合わせるには

1 準備。

電源を入れ、タイマー再生するソースをセットし、入力を再生するソースに合わせておきます。

CD.....14ページ「CDを演奏してみよう」の2～5にしたがって、ディスクをセットします。

●プログラムした曲を再生したい場合は、あらかじめプログラムしておきます。(CDの頭の曲が再生される。7分が過ぎれば終了)

TAPE.....27ページ「テープを再生してみよう」の2～3にしたがってテープをセットします。

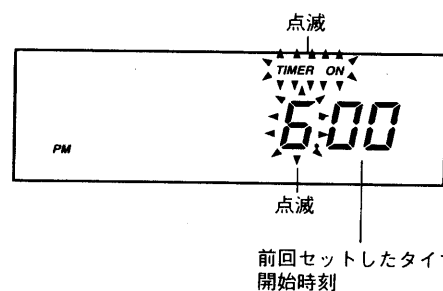
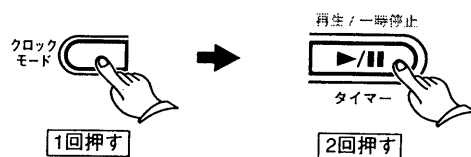
●テープのタイマー再生の場合には、タイマー再生開始、終了時刻を設定し、電源を切った後に、再生ボタンを押してください。

TUNER.....22ページ「放送の受信」の2～3、または24ページ「プリセット選局」の1にしたがって選局しておきます。

●希望の音量、音質、バランスを調節しておきます。

2 タイマー時刻設定モードにする。

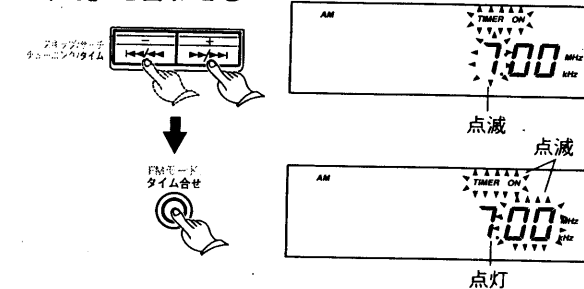
クロックモードボタンを1回押した後、タイマーボタンを2回押します。



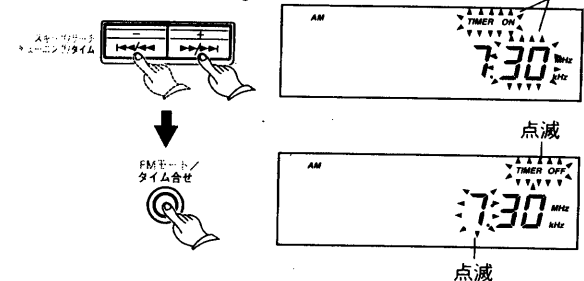
「TIMER ON」インジケータと「時」表示が点滅し、タイマー時刻設定モードになります。

3 タイマー再生開始時刻合わせをする。

●「時」を合わせる



●「分」を合わせる。



「分」を合わせ、タイム合わせボタンを押すと、「TIMER OFF」インジケータが点滅しますので続けて終了時刻を合わせます。

タイマー再生/録音のしかた(つづき)

4 タイマー再生終了時刻合わせをする。

- 「時」を合わせる

- 「分」を合わせる。

5 タイマー設定を終了します。

クロックモードボタンを押すと、「TIMER ON/OFF」インジケータが点灯し、表示はタイマー設定を始める前の状態に戻り、タイマー設定が終了します。

6 タイマー待機状態にします。

電源ボタンを押し、電源を切ります。ディスプレイは現在時刻を表示し、「TIMER ON」インジケータが点灯します。

- 電源が入った状態にしておきますと、タイマー再生は始まりません。

注意

タイマー設定の途中、30秒間ボタン操作をせずに放置しますと表示はタイマー設定をする前の状態に戻ります。このようなときは、もう一度始めから設定しなおしてください。

放送をタイマーで録音するには

<h3>1 タイマー録音したい放送の受信。</h3> <p>22ページ「放送の受信」の2～3、または24ページ「プリセット選局」の1にしたがって選局しておきます。</p>	<h3>2 タイマー録音開始、終了時刻の設定。</h3> <p>35～36ページ「タイマー再生」の2～5の操作にならってタイマー録音開始、終了時刻を設定します。</p>	<h3>3 電源を切る。</h3> <p>電源ボタンを押し、電源を切ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源が入った状態にしておくと、タイマー録音は始まりません。 	<h3>4 録音するテープをセットする。</h3> <p>26ページ</p> <p>「カセットテープの入れかた」にしたがって録音するカセットテープをTAPE2に入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つめ」が折れているテープは録音できません。
<h3>4 録音ボタンを押し、録音待機状態にする。</h3> <p>録音ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> タイマー録音は、セットしたテープの片面を録音終了すると録音ボタンが解除されデッキは停止状態となります。 タイマー設定の時間を使用するテープ片面の録音時間よりも少し長くしておくと録音終了後に電源も切れますので便利です。 留守録(そばに人がいないでタイマー録音する場合)では、音量は最少にしてご使用ください。 			

タイマー設定時刻の確認

電源ON状態でクロックモードボタンを1回押した後、タイマーボタンを1回押します。(停止状態、動作状態のいずれでも可能です。)

表示はタイマー開始時刻を5秒間表示した後、タイマー終了時刻を5秒間表示し、元の表示に戻ります。(この例ではCD表示)

タイマー設定時刻の変更

タイマー再生/録音の手順にしたがってもう一度始めから設定しなおします。

タイマー設定の取り消し

① クロックモードボタンを1回押します。

② タイマーボタンを2回押します。

③ クロックモードボタンを1回押します。「TIMER ON/OFF」インジケータが消灯し、タイマー設定が取り消されます。

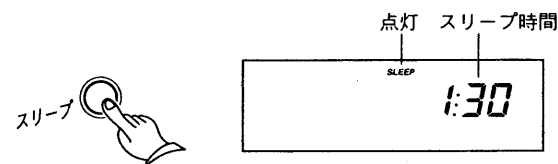
スリープタイマー

スリープタイマーは、セットした動作時間が過ぎると自動的に電源が切れます。聴きながらおやすみになるときなどにお使いください。

スリープタイマーの設定 (リモコン操作のみ)

1 スリープ時間の設定

電源ON状態でリモコンのスリープボタンを押します。スリープインジケータ「SLEEP」が点灯します。



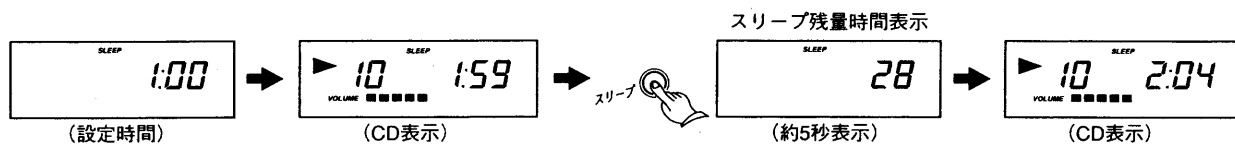
- スリープ時間をセット(時間を表示させる)して約5秒後にスリープタイマーが動作します。
- 電源OFF状態、タイマー再生/録音中はスリープタイマーは、はたらきません。

押す回数	表示	動作時間
1	1:30	1時間30分
2	1:20	1時間20分
3	1:10	1時間10分
4	1:00	1時間
5	50	50分
6	40	40分
7	30	30分
8	20	20分
9	10	10分
10	00	スリープタイマー解除

※11回押すと1:30に戻ります。

残り時間の確認

スリープタイマー動作中に、スリープボタンを押すと、残り時間を約5秒間表示します。
例：スリープ動作時間を1時間に設定してあり、残り時間が28分の場合は



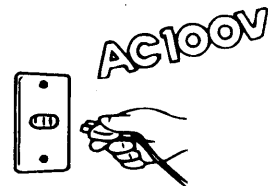
スリープタイマーの取り消し

スリープボタンを押して残り時間表示を「00」にすると、約5秒後にスリープインジケータが消えて、スリープタイマー動作が解除されます。

- 電源を切ってもスリープタイマーは解除されます。

特に注意していただきたいこと

AC100Vを使用
家庭用電源で使用されるときは、必ずAC(交流)100Vにしてください。



電源コードは大切に
電源コードは、必ずプラグを持って抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししたり、傷がついた電源コードを使うと危険です。



ケースは絶対に開けない
ケースを開けて内部に触れたり、金属物を入れますと、感電したり故障の原因になります。



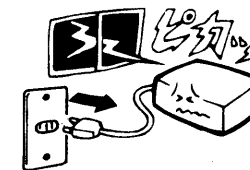
放熱効果を良くしてください
狭い場所に置いたり、通風孔をふさぐと放熱が悪くなり故障の原因になります。



長期間ご使用にならないとき
万一の事故を防ぐために、旅行などで長い間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、乾電池で使用しているときは、電池を取り出しておいてください。入れたままにしておきますと、乾電池の液もれによって腐食し、故障の原因になります。



雷が降り出したら
電源プラグをコンセントから抜いてください。また屋外で使用しているときは、アンテナをたたんで使用を中止してください。



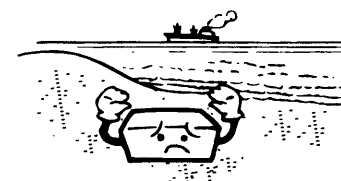
高温は故障の原因
直射日光のあたる場所やストーブのような熱器具の近く、および炎天下に駐車した自動車内で使用すると、ケースや部品に悪い影響を与えます。



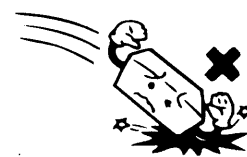
湿気・ホコリ・水気は禁物
湿気・ホコリや水気の少ないところで使用してください。内部に水が入ると感電したり、故障の原因になります。



砂は禁物
海辺や砂地では使用しないでください。砂などが内部に入ると故障の原因になります。



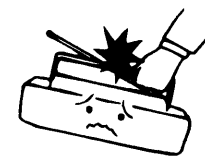
衝撃を与えないでください
落としたり、物にあてたりして、強い衝撃を与えないでください。故障したり、性能が十分に発揮できないことがあります。



温度差のある所への移動は禁物
寒い所から急に暖かい所への移動は避けてください。故障の原因となります。



持ち運びには
持ち運びをするときは、アンテナをたたんでください。のびたまま持ち運びすると、アンテナが折れたりする原因になります。



本機内のレンズやセンサーの表面にゴミや浮遊物などが付着いたしますと、正確な動作をしなくなることがあります。設置場所により定期的な清掃が必要になります。

本機の周囲での超音波加湿器のご使用は避けてください。本機の周囲で超音波加湿器を使用いたしますと、加湿器に使用する水の水质によっては、水中にとけているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがありますのでご注意ください。

お手入れのしかた

お手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。



結露について

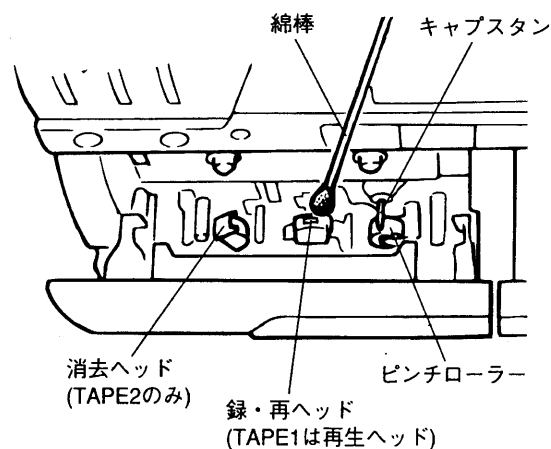
冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すとCDプレーヤー部の信号を読み取るピックアップレンズに水滴がついて(結露現象)、正しく動作しないことがあります。このような場合には1~2時間待ってから使用してください。



ヘッド清掃 (テープ部)

カセットレコーダーは使っているうちに、ヘッドなどテープ走行面がひどく汚れます。汚れたままで使うと音がでなかったり、途切れたりします。約10時間使用しましたら、次の手順でヘッドの清掃を行なってください。

- ① 電源を切り、停止/取出しボタンを押してカセットホルダーを開けます。
- ② 綿棒に市販のクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを軽くふきます。



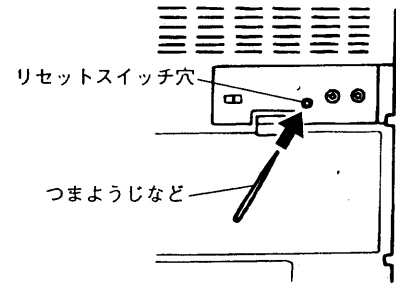
故障かな? と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。なおアフターサービスについては43ページをご覧ください。

	症状	原因と思われるところ	適切な処置方法
CD部	CDプレーヤーでの演奏ができない。	1. ディスクが裏返しになっている。 2. ディスクが汚れている。 3. 規格外のディスクを使用している。 4. ディスクに傷があったり、そっている。	1. ディスクを入れなおす。 2. ディスクの表面をきれいにふく。 3. ディスクを交換してみる。 4. ディスクを交換してみる。
	CDの音が途切れる	1. ディスクに傷などの欠陥がある。 2. ディスクが汚れている。	1. ディスクを交換してみる。 2. ディスクの表面をきれいにふく。
ラジオ部	F M放送のとき “シャー”という音が出る。 とくにステレオ受信時にめだつ。	1. アンテナの入力電波が弱い。	1. ロッドアンテナの方向を変えてみてください。
	A M放送のとき “ジー”という音が出る。 とくに夜間や電波の弱い局ほど大きい。 “ブーン”という音(同調ハム)が出る。	1. セットの近くにある電気器具(テレビ、蛍光灯など)の影響を受けている。	1. 電気器具の電源を切ったとき、雑音が消えるときは、その器具からセットを離してください。 1. 電源プラグの差し込みを逆にすれば直ることもあります。
共通部	電源が入らない。	1. 電源コードの接続が不完全。 2. 乾電池が消耗している。 3. 乾電池の向きがまちがっている。	1. 確実に接続する。 2. 新しい乾電池と交換する。 3. 乾電池の向きを正しく入れる。
	スピーカーから音が出ない。	1. 音量レベルが最小になっている。 2. ヘッドホンが接続されている。 3. スピーカーコードの接続が不完全。	1. レベルを上げる。 2. ヘッドホンをはずす。 3. 確実に接続する。
	カセットテープが入らない。	1. カセットテープの向きが上下逆になっている。	1. テープが見える側を下にして入れる。
テープ部	テープの音が悪かったり、ひずんだりする。	1. ヘッドが汚れている。 2. 乾電池が消耗している。	1. ヘッドを清掃する。 2. 新しい乾電池と交換する。
	録音できない。	1. カセットテープの誤消去防止「つめ」が折れている。 2. 一時停止ボタンが押されている。	1. 「つめ」を確認する。(26ページ参照) 2. 一時停止ボタンを押し、一時停止を解除する。
	録音ボタンが押せない。	1. カセットテープが入っていない。 2. カセットテープの「つめ」が折れている。	1. 「つめ」の折れていないカセットテープを入れる。 2. 「つめ」の折れていないカセットテープを入れる。または、折れた「つめ」の穴をテープでふさぐ。(26ページ参照)

故障かな?と考える前に(つづき)

症状	原因と思われるところ	適切な処置方法
ボタンに触れたら、取扱説明書にない表示をした。ボタンを押しても正常に動作しない。	1. 静電気などにより、内蔵のマイクロコンピュータが誤動作したことが考えられます。	1. ディスクやテープの場合は、停止ボタンを押しても一度再生しなおしてください。または電源コードのプラグをコンセントから一旦抜いて再度差し込んでみてください。それでも変化が無い場合は、本体裏面にあるリセットスイッチをつまようじなどで押してください。 リセットスイッチを押すと、今まで記憶していた内容(現在時刻、チューナープリセットなど)はすべて消えますので、再度セットしなおしてください。



本システムはマイコンを使った精密機器です。外部雑音の大きいところでの使用は避けてください。このような所で使用すると、不具合な動作をすることがありますが、故障ではありません。万一、不具合な動作が発生した場合には、もう一度希望する操作をおこなってください。

仕様

- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
- 仕様およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

■チューナー部		■CDプレーヤー部	
受信周波数	TV: 1~3 CH FM: 76.1~89.9 MHz(0.1MHzステップ) AM: 522~1,629 kHz(9kHzステップ)	オーディオチャンネル数	2チャンネル
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵	周波数特性	20~20,000Hz
■カセットデッキ部		ワウフラッター	測定限界(±0.001%Wpeak)以下
トラック方式	4トラック2chステレオ	使用ディスク	コンパクトディスク(直径120mm/80mm)
テープ	ノーマル(TYPE I)	ピックアップ	半導体レーザーピックアップ
周波数特性	ノーマル: 40~13,000 Hz(EIAJ)	■電源部・その他	
■アンプ部		電源 本体用	AC 100V、50/60Hz
入力端子	マイク入力: 適合インピーダンス 200~600Ω(3.5φミニジャック)	バックアップ用	DC 12V(別売単1乾電池×8個)
出力端子	ヘッドホン出力(ステレオミニジャック) 適合インピーダンス8~100Ω	消費電力	DC6V(別売単3乾電池×4個) 32W
実用最大出力	7.5W+7.5W(EIAJ/AC)	電池接続時間	別売乾電池SUM-1(SG)使用時 約15時間(EIAJ、FM録音時) 約3時間(EIAJ、CDプレーヤー再生時、 グラフィックイコライザー: センター)
■タイマー部		外形寸法	約12ヶ月(バックアップ用乾電池) 本体: 274(幅)×265(高さ)×227(奥行)mm(※1) 284(幅)×265(高さ)×227(奥行)mm(※2) スピーカー: 163(幅)×265(高さ)×218(奥行)mm(※2) システム: 610(幅)×265(高さ)×227(奥行)mm ※1: ジョイント部含まず ※2: ジョイント部含む
方式	デジタルクォーツクロック	質量	約8.0kg(乾電池含む)
表示方法	AM/PM12時間式	使用スピーカー	10cm丸型×2 2cm丸型×2
タイマー精度	月差60秒以内	■付属品	
		ワイヤレスリモコン (RB-CX5W) 1
		単4乾電池 (リモコン用) 2
		電源コード 1

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、「故障かな?と考える前に」(41~42ページ)をお調べください。それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

- ①形名: CX-5W
- ②症状: できるだけ詳しく

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店が別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

著作権についてのご注意

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物(ミュージックテープなど)の作品も同じように著作権法により保護されています。従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

たとえば、
●放送やレコード、録音物から録音したテープを売ったり、配ったりすること、あるいは貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。

●レコードや録音物またはそれから録音したテープや、放送から録音したテープを営利(店のBGMなど)のために使用すること。

これらの場合には著作権法上権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会(JASRAC)」もしくははもよりの支部におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会 (JASRAC)

〒105 東京都港区西新橋1-7-13
TEL (03) 3502-6551 (大代表) FAX (03) 3508-8183

保証について

●この商品は保証書付きです。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 北海道支部 (業務地域 北海道)
〒060 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011) 221-5088 (代表) FAX (011) 221-1311
- 盛岡支部 (業務地域 岩手・青森・秋田)
〒020 盛岡市菜園1-3-6 農林会館
TEL (0196) 52-3201 (代表) FAX (0196) 52-4010
- 仙台支部 (業務地域 宮城・山形・福島)
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022) 264-2266 (代表) FAX (022) 265-2706
- 大宮支部 (業務地域 埼玉・栃木・群馬・長野・新潟)
〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048) 643-5461 (代表) FAX (048) 643-3567
- 東京支部 (業務地域 東京都東部・千葉・茨城)
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03) 3562-4455 (代表) FAX (03) 3562-4457
- 西東京支部 (業務地域 東京都西部・山梨)
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 第5荒井ビル
TEL (03) 3232-8301 (代表) FAX (03) 3232-7798
- 横浜支部 (業務地域 神奈川)
〒231 横浜市中区日本大通り60 朝日生命横浜ビル
TEL (045) 662-6551 (代表) FAX (045) 662-6548
- 静岡支部 (業務地域 静岡)
〒420 静岡市追手町9-22 読売静岡ビル
TEL (054) 254-2621 (代表) FAX (054) 254-0285
- 中部支部 (業務地域 愛知・岐阜・三重)
〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052) 583-7590 (代表) FAX (052) 583-7594
- 北陸支部 (業務地域 石川・富山・福井)
〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762) 21-3602 (代表) FAX (0762) 21-6109
- 京都支部 (業務地域 京都・滋賀・奈良)
〒600 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾8 京都三井ビル
TEL (075) 251-0134 (代表) FAX (075) 251-0414
- 大阪支部 (業務地域 大阪南・和歌山)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-0351 (代表) FAX (06) 244-1970
- 大阪北支部 (業務地域 大阪北)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-7077 (代表) FAX (06) 244-1970
- 神戸支部 (業務地域 兵庫)
〒650 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビル
TEL (078) 322-0561 (代表) FAX (078) 322-0975
- 中国支部 (業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)
〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082) 249-6362 (代表) FAX (082) 246-4396
- 四国支部 (業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)
〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878) 21-9191 (代表) FAX (0878) 22-5083
- 九州支部 (業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本)
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092) 441-2285 (代表) FAX (092) 441-4218
- 鹿児島支部 (業務地域 鹿児島・宮崎)
〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (0992) 24-6211 (代表) FAX (0992) 24-6106
- 那覇支部 (業務地域 沖縄)
〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098) 863-1228 (代表) FAX (098) 866-5074